

令和 3 年版

消 防 年 報



大 磯 町 消 防 本 部

ま え が き

この消防年報は、大磯町の消防現勢と令和3年中の消防業務の実態等について紹介するものです。

統計資料は主として令和4年4月1日現在で記載していますが、火災・救急・気象・その他一部の統計資料につきましては、暦年によって記載しました。

本書が、本町消防行政について、ご理解をいただくために少しでもお役にたてれば幸いです。

令和4年6月

大磯町消防本部

災害動向（令和3年1月1日～令和3年12月31日）

●火災発生状況

火災発生件数は5件で、前年より12件の減少となっています。火災の種別では、「建物火災」1件、「車両火災」1件、「その他の火災」3件となっており、「建物火災」の件数は、前年より6件の減少となっています。出火原因は、「その他（放火、放火の疑い含む）」4件、「不明」1件でした。なお、火災により亡くなられた方はおりませんでした。

●119番通報状況

119番通報の着信件数は1,854件で、前年より143件の増加となっています。通報の内訳は、「救急」1,425件、「火災」16件、「救助」4件、「問い合わせ」109件、「間違い」60件、「試験・訓練」70件、それ以外の着信件数は170件でした。

●気象状況

年間の降雨量は1,682.5mmで、前年に比べ481.5mmの増加となっています。1か月の降雨量が200mmを超えた月は7月と9月で、7月の降雨量は411mm、9月の降雨量は236.5mmでした。

気象警報の発表状況は、「大雨警報」3件（前年より2件減少）、「洪水警報」3件（前年より3件増加）、「波浪警報」2件（前年より2件増加）、「暴風警報」1件（前年より1件増加）となっています。

●救急活動

救急活動の出場件数は1,567件で、前年に比べ81件の増加、搬送人員は1,500人で90人の増加となっています。事故種別では、「急病」994件、「一般負傷」280件、「交通事故」98件、それ以外の出動件数は195件でした。

年齢別では、65歳以上の高齢者の搬送人員が975人（65%）と最も多く、前年より12人の増加となっています。また、傷病の程度では、重症の搬送人員は74人（4.9%）で27人減少し、中等症は625人（41.7%）で29人の増加となっており、軽症の搬送人員は764人（50.9%）で前年より82人の増加となり最も増えている状況です。

●救助活動

救助活動の出場件数は8件で、前年と比べ1件の増加、救助人員は6人で前年と比べ3人の減少となっています。事故種別では、「交通事故」2件、「水難事故」1件、それ以外の事故件数は5件でした。

●救急支援活動

救急支援活動の出場件数は235件で、前年と比べ6件の増加となっています。支援種別では、「その他（救急隊の活動を円滑に行なうための出動等）」が176件、「搬出困難」34件、「交通事故」25件でした。

大磯町町民憲章

わたくしたちは、高麗、鷹取の山なみや、こゆるぎの浜に象徴される美しい自然と由緒ある歴史、文化に恵まれた大磯の地を愛し、誇りとし、さらに住みよいまちづくりを目ざして、ここに町民憲章を定めます。

- 1 恵まれた自然と伝統を守り、文化の向上に努め、豊かなまちにしましょう。
- 1 公德心と心のふれあいをたかめ、世界に誇れる美しいまちにしましょう。
- 1 心とからだをきたえ、健康で働くことを喜びあえる明るいまちにしましょう。

(昭和56年1月1日制定)

● 町の鳥

「かもめ」は、昭和59年12月に町のイメージにふさわしい鳥として制定されました。

「アオバト」は平成22年11月に町の鳥として新たに制定されました。群をなして照ヶ崎海岸の岩礁に海水を求め飛来しています。



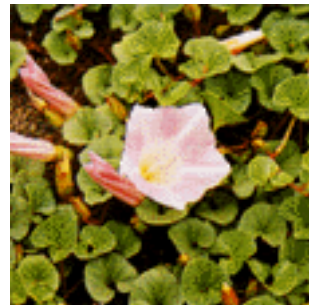
△かもめ



△アオバト

● 町の花

「はまひるがお」は、平成10年2月に大磯町のなぎさのイメージにふさわしい花として制定されました。径4～5センチの薄紅色の花は、漏斗状で筒が太く、海岸の砂浜に生える、つる性の多年草です。



△はまひるがお

● 町の木

豊かな自然に恵まれた大磯にもっともふさわしい町の木は、昭和50年4月に町民の公募で決定され、高い木ではまつ科の「くろまつ」、低い木ではつばき科の「さざんか」が選ばれました。



△くろまつ



△さざんか

凡 例

- 1 本書は、大磯町の消防現勢と令和3年中の消防活動のあらましを収録したものです。
- 2 各表の年次については、右上欄外に明記してありますが、記載のないものは令和3年中の数値です。
- 3 数字の単位未満は、四捨五入を原則としました。そのため、合計数と内訳が一致しない場合があります。
- 4 統計表中の符号の用法は次のとおりです。
 - 「0」……単位未満
 - 「…」……不詳

※ 欄内が空白の部分は、皆無または該当数字なしとなっています。

— 目 次 —

大磯町の地勢	1
人口・世帯数	2
[消 防 の 概 要]	
大磯町消防のあゆみ	3~10
歴代消防長・消防団長	11
消防庁舎の現況	12
消防機構図	13
消防本部・署事務分掌	14, 15
消防本部・署の現勢	16
常備消防力の基準と現有消防力の比較	17
消防配置図	18
消防本部・署現有車両機械状況	19
機械器具等	20
消防水利状況	21
町内消火栓管区図	22
[総 務]	
主要行事	23
消防予算額	24
町総予算（一般会計）と消防予算との比較	24
消防費と世帯・人口比	24
消防職員定員・実員・年齢	25
[火 災 ・ 通 信 ・ 気 象]	
月別火災発生状況	26
原因別火災状況	27
地区別出火状況	28
専用電話(119番)月別着信状況	29
現有无線局状況	30
気象状況	31
気象通報受信状況	32
[救 急 ・ 救 助]	
救急活動状況	33
地区別救急出場件数	34
時間別救急出場件数	35
曜日別救急出場件数	35
年齢区分別・傷病程度別搬送人員	36
収容病院別搬送人員	37

事故種別応急処置回数	38
月別救急支援活動件数	39
月別救助出場件数	40
[予 防]	
防火対象物状況	41
防火管理者届出及び消防計画届出状況	42
火災予防関係届出状況	43
建築物消防同意状況	44
用途地域別建築物消防同意	45
中高層建築物状況	46
危険物関係届出状況	47
危険物施設状況	48
指定数量別危険物製造所等の状況	49
地区別危険物施設及び貯蔵・取扱数量	50
[消 防 団]	
消防団の現勢	51
消防団の現況	51
消防団分団別受持区域図	52
消防団分団別受持区域表	53
各分団所在地	54
消防団員階級別年齢	55
職業別消防団員数	56
消防団員在職年数	56
消防団員報酬額	56
消防団員費用弁償額	56
消防団現有車両機械状況	57
[その他 統計]	
防災訓練実施状況	58
救命講習会等実施状況	59
参考資料	60

大磯町の地勢

大磯町は、神奈川県中央南部（東経 139° 18' ，北緯 35° 18' ）に位置しています。南は相模湾、北は高麗山や鷹取山をはじめとした大磯地塊の丘陵地帯で、北と東は平塚市、西は二宮町と境を接しています。東西約 7.6 km、南北約 4.1km のやや東西に長い形をしており、面積は 17.23 k m² で、市街地は国道 1 号沿いの平坦部に形成されています。まちの 65% を丘陵部が占め、気候は海岸沿いに流れる暖流の影響で温暖です。

※ 緯度、経度は大磯町役場の位置



人口・世帯数

(令和4年4月1日現在)

字名	世帯数	人口		
		総数	男	女
高麗	1,085	2,679	1,338	1,341
高麗一丁目	354	1,007	494	513
高麗二丁目	585	1,355	682	673
高麗三丁目	146	317	162	155
東町	699	1,784	870	914
東町一丁目	247	623	304	319
東町二丁目	130	356	177	179
東町三丁目	322	805	389	416
大磯	2,602	6,033	2,936	3,097
東小磯	1,235	2,974	1,442	1,532
西小磯	1,733	4,309	2,109	2,200
国府本郷	2,029	5,096	2,460	2,636
国府新宿	1,255	3,249	1,566	1,683
生沢	868	1,975	1,013	962
寺坂	114	286	148	138
虫窪	94	391	174	217
黒岩	79	186	87	99
西久保	43	120	63	57
石神台	703	1,623	767	856
石神台一丁目	239	550	257	293
石神台二丁目	192	446	205	241
石神台三丁目	272	627	305	322
月京	290	687	324	363
町内全地区合計	12,829	31,392	15,297	16,095

参考	総面積 17.23km ²	1km ² あたりの	
		世帯数	人口(人)
		745	1,822

消防の概要

大磯町消防のあゆみ

- 明6. 8 町内から発生した火災で、尾上本陣内に設けられていた小学校が焼失。
- 明22. 3 壮年者(後の若者組、青年会の前身)による町内単位の自衛消防組が組織され鳶掛、竜吐水掛、水掛、梯掛の四部分に分かれ、村長、警察官、議員の指揮に従った。
- 明22. 3 町村制が施行され、大磯町・国府村が誕生。
- 明23. 8 南下町から出火し、折からの烈風にあおられ町の大半を焼失。中川町長は住宅の過密化緩和のため長者町への移住を推進した。
- 明27. 5. 1 消防組令の公布。
- 明31. 10. 13 台町の火災により妙昌寺焼失。
- 明35. 12. 25 町内の旅館から出火、町の大半を焼失。
- 明43. 12. 28 農家から出火、中丸の大半を焼失。飛火は西小磯金龍寺に及び焼失。
- 大12. 9. 1 関東大震災発生。
- 昭14. 4. 1 警防団令の公布。
- 昭20. 7. 16 平塚市空襲の際、大磯町・国府村寺坂に焼夷弾の落下を受け民家約40戸を焼失。
- 昭22. 5. 1 消防団令の公布により自治体消防として発足。
- 昭29. 12. 1 町村合併促進法に基づき大磯町、国府町の合併により大磯町が発足。(面積17.19km²、人口21,595人)
- 昭30. 6. 1 大磯町消防団結団式を挙行、2本部10分団487名。
- 昭31. 9. 1 小型動力ポンプ1台購入、第1分団に配置。
- 昭32. 7. 24 小型動力ポンプ2台購入、第3分団及び第5分団に配置。
- 昭33. 8. 28 小型動力ポンプ2台購入、第2分団及び第10分団に配置。
- 昭34. 4. 1 消防の充実を図るため団員数を縮小し、1分団25名とした。
- 昭34. 8 第9回県消防操法大会に、第1分団が小型動力ポンプの部に出場。
- 昭34. 10. 18 第6分団に三輪ポンプ車を配置。
- 昭34. 12. 22 小型動力ポンプ3台購入、第4分団、第7分団、第8分団に配置。
- 昭35. 11. 26 消防ポンプ自動車(いすゞ)購入、消防団第1本部に配置。
- 昭37. 7. 1 大磯町火災予防条例を制定。
- 昭37. 12. 25 消防ポンプ自動車(ニッサンパトロール)購入、消防団第2本部に配置。
- 昭38. 2. 11 日本消防協会から団旗竿頭かんとうじゅ綬を拝受。
- 昭38. 4. 1 消防の充実を図るため1分団20名とした。
- 昭38. 6. 5 消防団本部火の見上に、火災報知用サイレンを設置。
- 昭38. 11. 8 大磯町防災会議条例及び大磯町災害対策本部条例を制定。
- 昭39. 7. 1 大磯町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例を制定。
- 昭39. 8 第14回県消防操法大会に、消防団第2本部が自動車ポンプの部に出場。
- 昭39. 11. 21 小型動力ポンプ1台購入、第9分団に配置。
- 昭40. 3. 11 大磯町課等設置条例の一部を改正。従来の総務課庶務係(消防)に代わり4月1日をもって消防課を設置。
- 昭40. 4. 1 消防の充実を図るため1分団15名とした。
- 昭40. 4. 2 消防課職員2名、県消防学校へ入校。
- 昭40. 6. 16 神奈川県から救急車(プリウス 1,900cc)受贈、消防課に配置。役場庁舎前に消防庁舎(1階車庫、2階事務室、仮眠室103.95m²)を建設。
- 昭40. 8. 5 救急業務開始。消防課職員10名。
- 昭40. 10. 7 第15回県消防操法大会に、第2分団が小型動力ポンプの部に出場。

- 昭41. 3. 5 消防課に無線(短波)を開局。
- 昭41. 4. 1 消防課職員4名増員。
- 昭41. 8. 18 大磯町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例を制定。
- 昭41. 9. 26 大磯町消防団員等公務災害補償条例を制定。
- 昭42. 4. 1 消防課職員4名増員。
- 昭42. 5. 12 政令により消防本部、署設置の指定を受ける。
- 昭42. 10. 1 常設消防設置準備室設置。県消防学校教官、秋本芳男氏の派遣を受け、1年間消防本部、署の創設業務と職員の教養指導を受けた。
- 昭42. 10. 9 県消防協会から広報車(三菱コルト 1,500cc)受贈、消防課に配置。
- 昭42. 11. 9 消防ポンプ自動車(ニッサンFR40)購入、消防課に配置。
- 昭42. 12. 27 消防ポンプ自動車(ニッサンFR40)購入、消防団第2本部(現在の第12分団)に配置。
- 昭43. 1. 11 前第2本部車を第5分団に積載車として配置。
- 昭43. 3. 18 大磯町消防本部及び消防署の設置等に関する条例及び大磯町消防償慰金条例制定。
- 昭43. 4. 1 大磯町消防本部、消防署設置。消防職員23名。
- 昭43. 6. 1 消防本部、署職員1名採用。
- 昭43. 9. 20 軽消防積載車購入、小型動力ポンプとともに消防署に配置。
- 昭43. 10. 7 第18回県消防操法大会に、消防団第1本部が自動車ポンプの部に出場。消防署も応用操法の部に出場、模範演技を披露。
- 昭44. 10. 31 救急自動車購入、消防署に配置。
- 昭45. 1. 16 消防庁、日本自動車工業会から救急自動車受贈、消防署に配置。
- 昭45. 4. 1 消防団組織改組。第1本部を第11分団に、第2本部を第12分団とし、本部長副本部長制を廃止、副団長3名を選出。
- 昭45. 11. 17 積載車(ニッサンジュニア 1,600cc)購入、第2分団に配置。
- 昭46. 2. 24 消防ポンプ自動車(ニッサンパトロール 3,956cc)購入、第6分団に配置。
- 昭46. 8. 21 第21回県消防操法大会に、第12分団が自動車ポンプの部に出場。
- 昭46. 11. 7 消防署に化学車(いすゞ TXD50E)配置。
- 昭46. 11. 17 積載車(ニッサンジュニア 1,600cc)2台購入、第4分団、第7分団に配置。
- 昭47. 1. 1 消防本部、署職員1名採用。
- 昭47. 4. 1 消防本部、署職員1名採用。
- 昭47. 10. 5 消防ポンプ自動車(ニッサンパトロール 3,956cc)購入、第1分団に配置。
- 昭47. 11. 9 積載車(ニッサンジュニア 1,600cc)3台購入、第8分団、第9分団、第10分団に配置。
- 昭47. 11. 11 消防本部、署職員1名採用。
- 昭48. 4. 1 大磯町危険物安全協会発足。
- 昭48. 8. 13 第23回県消防操法大会に第4分団が小型動力ポンプの部に出場。消防署も応用操法の部に出場、模範演技を披露。
- 昭48. 9. 20 小型動力ポンプ購入、第2分団に配置。
- 昭48. 10. 27 消防庁舎起工式。(大磯1,075番地)
- 昭48. 11. 20 積載車(ニッサンジュニア 1,600cc)購入、第3分団に配置。
- 昭48. 11. 28 消防ポンプ自動車(ニッサンパトロール 3,956cc)購入、第5分団に配置。
- 昭49. 3. 31 一斉指令装置設置。
- 昭49. 8. 5 消防庁舎竣工。大磯992番地の旧庁舎から大磯1,075番地の新消防庁舎[鉄筋コンクリート造り3階建(1,384.96㎡)]に移転し業務開始。
- 昭49. 8. 9 地震対策用ろ水機購入。
- 昭49. 10. 17 小型動力ポンプ2台購入、第3分団、第10分団に配置。
- 昭50. 3. 4 消防庁長官から^{かんとうじゅ}竿頭綬を拝受。
- 昭50. 4. 1 消防本部、署職員1名採用。

- 昭50. 5. 1 消防署高圧ガス危害予防規程制定。
- 昭50. 5. 15 広報車（ニッサンブルーバード 1,600cc)購入、消防署に配置。
- 昭50. 6. 5 一般高圧ガス、圧縮空気製造施設設置。
- 昭50. 7. 25 神奈川県下消防相互応援協定書に調印。
- 昭50. 8. 11 第25回県消防操法大会、第3分団が小型動力ポンプの部に出場。消防署も応用操法の部に出場、模範演技を披露。
- 昭50. 8. 18 小型動力ポンプ2台購入、第7分団、第8分団に配置。
- 昭50. 12. 10 消防ポンプ自動車（ニッサンパトロール 3,956cc)購入、消防署に配置。
- 昭51. 11. 26 小型動力ポンプ2台購入、第4分団、第9分団に配置。
- 昭51. 11. 29 超短波無線（移動局）3基購入。
- 昭52. 4. 1 消防本部、署職員1名採用。
- 昭52. 8. 8 第27回県消防操法大会に、第5分団が自動車ポンプの部に出場。
- 昭52. 10. 8 定数条例の改正。消防職員28名。
- 昭52. 11. 14 日本損害保険協会から救急自動車受贈、消防署に配置。
- 昭53. 4. 1 消防本部、署職員3名採用。
- 昭54. 4. 1 テレオートガイド装置設置、防災(スポット)テレホンサービス開始。
- 昭54. 6. 26 旧吉田首相私邸で日米首脳会談が開催され警備にあたる。
- 昭54. 8. 10 第29回県消防操法大会に、第6分団が自動車ポンプの部に出場。
- 昭54. 10. 1 定数条例の改正、消防職員30人。消防本部、署の組織の一部改正により本部では従来の庶務、予防、警備の3係に加えて企画係を新設。署では従来の当直隊の呼称を甲隊、乙隊から警防第1係、警防第2係に改正。
- 昭54. 10. 19 台風20号の影響で町内各所に被害が続出し、町役場に災害対策本部を設置。
- 昭55. 3. 26 消防ポンプ自動車（ニッサンパトロール 3,950cc)購入、第11分団に配置。
- 昭55. 4. 1 消防本部、署職員2名採用。
- 昭55. 7. 9 軽指令車（三菱 540cc)購入、消防署に配置。
- 昭55. 8. 12 小型動力ポンプ3台購入、第5分団、第11分団、第12分団に配置。
- 昭55. 10. 13 第1回消防団員家族慰安旅行(山梨県)を実施。
- 昭55. 10. 16 第12分団詰所新築。
- 昭56. 4. 1 消防本部、署職員1名採用。
- 昭56. 7. 22 日本損害保険協会から消防ポンプ自動車受贈、消防署に配置。
- 昭56. 8. 7 第31回県消防操法大会に、第7分団が小型動力ポンプの部に出場。
- 昭56. 12. 8 小型動力ポンプ3台購入、消防署、第1分団、第6分団に配置。
- 昭57. 1. 29 救急自動車（トヨタ 1,960cc)購入、消防署に配置。
- 昭57. 3. 31 大磯町消防職員の任用に関する規定を廃止。
- 昭57. 8. 6 日本消防協会から広報車(三菱ギャラン 1,600cc)受贈、消防署に配置。
- 昭57. 12. 8 小型動力ポンプ購入、消防署に配置。
- 昭58. 3. 1 消防本部、署職員1名採用。
- 昭58. 3. 2 消防庁長官から表彰旗を拝受。
- 昭58. 3. 15 水槽付消防ポンプ自動車（日野KFD 6,443cc)購入、消防署に配置。
- 昭58. 3. 25 第11分団詰所新築。（町立図書館に併設）
- 昭58. 5. 26 国府地区(二宮局)の119番が大磯町と二宮町で同時に受信できるマルチ方式となった。
- 昭58. 8. 3 第33回県消防操法大会に、第8分団が小型動力ポンプの部に出場。
- 昭58. 8. 19 日本消防協会から軽可搬ポンプ4台受贈、北下町,東町,神明町,月京の婦人防火クラブに配置。
- 昭58. 12. 3 消防ポンプ自動車（ニッサンパトロール 3,950cc)購入、第12分団に配置。
- 昭58. 12. 18 第1分団詰所新築。
- 昭59. 6. 25 指令車（ニッサンセドリック 2,000cc)購入、消防署に配置。

- 昭59. 8. 8 日本消防協会から緊急用ろ水機受贈、消防署に配置。
- 昭59.12. 2 小型動力ポンプ付積載車(ニッサンアトラス 1,600cc)購入、第2分団に配置。
- 昭60. 1. 1 消防署安全管理規程及び訓練時安全管理要綱制定。
- 昭60. 3. 20 第10分団詰所新築。
- 昭60. 4. 1 消防本部、署職員2名採用。
- 昭60. 6. 5 大磯町消防通信規程及び大磯町消防超短波無線局運用規程制定。
- 昭60. 9. 30 小型動力ポンプ購入、消防署に配置。
- 昭60.10.30 小型動力ポンプ付積載車(ニッサンアトラス 1,600cc)2台購入、第4分団、第7分団に配置。
- 昭60.11.28 第7分団詰所新築。
- 昭61. 2. 2 一斉指令装置更新。
- 昭61. 3. 4 日本損害保険協会から救急自動車(トヨタ 1,990cc)受贈、消防署に配置。大磯ロータリークラブから救急資器材受贈。
- 昭61. 8. 1 第35回県消防操法大会に第9分団が小型動力ポンプの部に出場。
- 昭61.10.29 超短波無線(移動局)1基更新。
- 昭61.11. 7 小型動力ポンプ付積載車(ニッサンアトラス 1,600cc)2台購入、第9分団、第10分団に配置。
- 昭61.12.10 消防ポンプ自動車(三菱キャンター 3,560cc)購入、消防署に配置。
- 昭61.12.25 第9分団詰所新築。
- 昭62. 4. 1 消防本部、署職員1名採用。
- 昭62. 8. 25 防災資機材運搬車(ホンダTNアクティ 545cc)購入、消防署に配置。
- 昭62. 9. 1 超短波無線(移動局)1基更新。
- 昭62.10. 1 大磯町非常勤消防団員等公務災害補償規定廃止。大磯町消防団員等に係る公務災害補償のうち休業補償を行わない場合を定める規則を制定。
- 昭62.10.20 小型動力ポンプ付積載車(ニッサンアトラス 1,600cc)2台購入、第3分団、第8分団に配置。
- 昭62.11. 1 大磯町消防通信規程、大磯町消防超短波無線局運用規程廃止。新たに大磯町消防無線局管理運用規程を制定。
- 昭63. 2.17 119番(大磯局)1回線増設。
- 昭63. 2.23 超短波無線(救急波)1基整備。
- 昭63. 3.26 第8分団詰所新築。
- 昭63. 9.19 超短波無線(移動局)1基購入。
- 昭63.10. 1 定数条例の改正、消防職員35名。
- 昭63.11.22 15mはしご付消防ポンプ自動車(いすゞR-FRR12DAL改良型 6,494cc)購入、消防署に配置。
- 平成. 1.25 消防ポンプ自動車(ニッサンサファリー 4,160cc)購入、第6分団に配置。
- 平成. 4. 1 消防本部、署職員2名採用。消防署の組織に関する規程の一部を改正、救助第1係、救助第2係を設置。
- 平成. 7. 7 第14回県下消防救助技術指導会に初出場。
- 平成. 9.29 消防ポンプ自動車(ニッサンサファリー 4,160cc)購入、第1分団に配置。
- 平成.11.18 救急自動車(トヨタ 1,990cc)購入、消防署に配置。
- 平2. 2.14 日本消防協会から^{かんとうじゅ}竿頭綬を拝受。
- 平2. 4. 1 消防本部、署職員2名採用。
- 平2. 7.26 第37回県消防操法大会に第10分団が小型動力ポンプの部に出場。
- 平2. 9.28 消防広報車(トヨタライトエースワゴン 1,990cc)購入、消防署に配置。
- 平2. 9.30 台風20号の影響で町内各所、特に西部地区に被害が続出し、町役場に災害対策本部を設置。
- 平2.11. 8 消防ポンプ自動車(ニッサンサファリー 4,160cc)購入、第5分団に配置。
- 平3. 2.26 地図検索装置設置。
- 平3. 4. 1 消防本部、署職員2名採用。

- 平3.6.28 消防団車載用携帯受令機12基購入。
- 平3.8.20 消防庁舎耐震診断終了。
- 平3.9.19 台風18号の影響で町内各所、特に西部地区に被害が続出。
- 平4.2.25 救助工作車（日野U-FD3HEAA改良型 7,412cc）購入、消防署に配置。
- 平4.2.28 超短波無線（移動局）1基購入。
- 平4.3.20 第5分団詰所新築。
- 平4.3.25 第4分団詰所（西小磯防災館併設）新築。
- 平4.3.31 第6分団詰所（国府新宿福祉館併設）新築。
- 平4.4.1 消防本部、署の組織の一部改正。本部に庶務課、警防課を設置し、署に通信第1係、通信第2係を設置。
- 平4.7.24 日本消防協会から軽可搬ポンプ1台受贈。
- 平4.9.1 第1回消防団親睦綱引き大会実施。
- 平4.9.26 定数条例の改正、消防職員40名。
- 平5.4.1 消防本部、署職員2名採用。
- 平5.9.6 日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車（日産U-CM87EE改良型 6,925cc）受贈、消防署に配置。
- 平5.12.31 消防庁舎耐震工事完成。
- 平6.2.23 第2分団詰所新築。
- 平6.4.1 消防本部、署職員2名採用。
- 平6.7.22 第23回消防救助技術関東地区指導会（埼玉県大宮市）に陸上の部（ほふく救出）で初出場。
- 平6.7.28 第39回県消防操法大会に第11分団が自動車ポンプの部に出場。
- 平6.8.25 第23回全国消防救助技術大会（京都市）に陸上の部（ほふく救出）で初出場。
- 平6.11.28 救急救命士1名養成。
- 平7.1.19 兵庫県南部地震の救助救援活動のため、職員を6日間、延べ4名を派遣。
- 平7.2.16 消防ポンプ自動車（ニッサンサファリー 4,160cc）購入、第11分団に配置。
- 平7.3.15 第3分団詰所新築。
- 平7.4.1 消防本部、署職員2名採用。
- 平7.6.7 定数条例の改正、消防職員45名。
- 平7.7.26 神奈川県・大磯町合同津波対策訓練実施。
- 平7.10.17 第12分団詰所新築。
- 平7.10.30 緊急消防援助隊に消火部隊として1隊を消防庁に登録。県外応援可能隊として組織。
- 平7.11.6 長野県小諸市と姉妹都市災害時相互支援協定を締結。
- 平8.2.29 高規格救急自動車（トヨタハイエース 3,960cc）購入、本署に配置。
- 平8.3.28 消防ポンプ自動車（いすゞエルフ 4,570cc）購入、国府分署に配置。
- 平8.4.1 大磯町消防署国府分署（国府支所に併設）開署、職員11名を配置。消防本部、署職員2名採用。
- 平8.4.1 大型街頭消火器設置、維持管理業務が町防災対策担当から移管される。
- 平8.4.1 大磯町消防団災害安全対策交付金要綱制定。
- 平8.4.25 救急救命士1名養成。
- 平8.8.21 湘南地区災害時職員相互派遣に関する協定を締結。
- 平8.10.1 大磯町消防本部消防職員委員会発足。同委員会に関する規則を制定。
- 平8.11.17 平塚市、大磯町、二宮町の災害時相互協力に関する協定を締結。
- 平8.11.28 消防団に専用無線を配備。
- 平9.2.11 重油回収作業に福井県三国町へ職員を派遣。
- 平9.3.26 神奈川県消防協会からかんとうじゅ竿頭綬を拝受。
- 平9.3.26 防災資機材運搬車（ホンダアクティトラック4WD 656cc）購入、国府分署に配置。

- 平9.4.1 消防本部、署職員2名採用。実員44名。
- 平9.5.12 救急救命士1名養成。
- 平9.5.24 北海道江差町と災害時相互応援協定を締結。
- 平9.12.8 救急救命士1名養成。
- 平10.3.18 日本消防協会から指令車(ニッサンブルーバード 1,800cc)受贈、消防署に配置。
- 平10.7.29 第41回県消防操法大会に第12分団が自動車ポンプの部に出場。
- 平10.11.18 長野県山口村と災害時相互支援協定を締結。
- 平10.10.28 救急自動車(ニッサンキャラバン 2,960cc)購入、国府分署に配置。
- 平11.8.19 山北町玄倉川の救助救援活動のため、職員を2日間、延べ15名を派遣。
- 平11.10.1 消防本部、署の組織の一部改正、本部の庶務係、企画係を消防総務課総務企画班に、予防係を予防保安班に改正。署の当直隊警防第1係、警防第2係を第1消防隊、第2消防隊に改正。
- 平12.7.14 第29消防救助技術関東地区指導会(埼玉県戸田市)に陸上の部(ほふく救出)で出場。
- 平12.8.18 第29回全国消防救助技術大会(熊本県)に陸上の部(ほふく救出)で出場。
- 平12.12.4 救急救命士1名養成。
- 平13.3.16 消防ポンプ自動車(いすゞエルフ4,570cc)購入、本署に配置。
- 平13.4.1 消防本部、署職員1名採用。実員42名。
- 平13.7.6 第30回消防救助技術関東地区指導会(東京都江東区)に陸上の部(ほふく救出)で出場。
- 平13.8.24 防災資機材運搬車(ホンダアクティトラック 656cc)購入、消防署に配置。
- 平13.10.16 小型動力ポンプ購入、消防署に配置。
- 平14.2.8 日本消防協会から表彰旗を拝受。
- 平14.3.29 日本自動車工業会から高規格救急自動車(トヨタハイメディック 3,378cc)を受贈し、国府分署に配置。
- 平14.4.1 消防本部、署職員2名採用。実員44名。
- 平14.4.1 大磯町女性防火クラブ設立、定員16名。
- 平14.5.8 救急救命士1名養成。
- 平14.7.19 第31回消防救助技術関東地区指導会(千葉県千葉市)に陸上の部(ほふく救出)で出場。
- 平14.7.24 第43回県消防操法大会に第1分団が自動車ポンプの部に出場。(優良賞)
- 平15.1.17 救急救命士1名養成。
- 平15.4.1 消防本部、署職員2名採用(うち1名救急救命士)。実員44名。
- 平15.5.14 救急救命士1名養成。
- 平15.11.19 救急救命士1名養成。
- 平16.5.24 救急救命士1名養成。
- 平16.12.17 救急救命士1名養成。
- 平17.4.1 消防本部、署職員2名採用。実員42名。
- 平17.7.26 第34回消防救助技術関東地区指導会(埼玉県さいたま市)に陸上の部(ほふく救出)で出場。
- 平17.12.5 救急救命士1名養成。
- 平18.7.20 第35回消防救助技術関東地区指導会(神奈川県横浜市)に水上の部(基本泳法)で出場。
- 平18.7.26 第45回県消防操法大会に第2・3分団合同で小型ポンプ操法の部に出場。(優良賞)
- 平19.3.27 救助工作車(日野レンジャー 6,403cc)更新、本署に配置。
- 平19.4.1 消防本部、署職員4名採用(うち1名救急救命士)。
- 平19.11.21 高規格救急自動車(トヨタハイメディック 2,693cc)更新、本署に配置。
- 平20.4.1 消防本部、署職員4名採用(うち1名救急救命士)実員43名。
- 平20.7.20 第37回消防救助技術関東地区指導会(千葉県千葉市)に水上の部(基本泳法・複合検索)で出場。
- 平20.10.10 小型動力ポンプ付積載車(ニッサンアトラス 1,998cc)購入、第12分団に配置。
- 平21.1.27 災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車(日野レンジャー 6,403cc)更新、本署に配置。

- 平21. 3. 22 旧吉田茂邸が火災により焼失。
- 平21. 4. 1 消防本部、署職員 3 名採用。実員 45 名。
- 平21. 4. 1 消防本部の組織に関する規則の一部改正を行い、第 1 消防隊、救急救助第 1 隊を本署第 1 隊に、第 2 消防隊、救急救助第 2 隊を本署第 2 隊に改めた。
- 平21. 7. 23 第38回消防救助技術関東地区指導会（神奈川県横浜市）に水上の部（基本泳法・複合検索）で出場。
- 平21. 9. 28 消防指揮車（ニッサンセレナ 1997cc）購入、本署に配置。
- 平21. 10. 26 小型動力ポンプ付積載車（ニッサンアトラス 1,998cc）購入、第 2 分団に配置。
- 平22. 1. 13 消防ポンプ自動車（イスズエルフ 2,999cc）更新、分署に配置。
- 平22. 1. 28 防災活動車（日産クリッパー 650cc）寄贈、本署に配置。
- 平22. 3. 1 高規格救急自動車（ニッサンパラメディック 3,498cc）更新、分署に配置。
- 平22. 3. 19 小型動力ポンプ付積載車（ニッサンアトラス 1,998cc）購入、第11分団に配置。
- 平22. 3. 29 日本消防協会から^{かんとうじゅ}竿頭綬を拝受。
- 平22. 4. 1 消防本部、署職員 1 名採用。実員 44 名。
- 平22. 4. 22 救急救命士 1 名養成。
- 平22. 7. 27 第47回神奈川県消防操法大会に第 4 分団が小型ポンプ操法の部に出場。
- 平22. 11. 17 小型動力ポンプ付積載車（ニッサンアトラス 1,998cc）2 台購入、第 4 分団、第 7 分団に配置。
- 平23. 3. 14 東北地方太平洋沖地震発生に伴い、緊急消防援助隊神奈川県隊消火部隊（2 次派遣隊）として宮城県に職員 6 名を 5 日間派遣。
- 平23. 3. 19 東北地方太平洋沖地震発生に伴い、緊急消防援助隊神奈川県隊救急部隊（4 次派遣隊）として福島県に職員 5 名 3 日間を派遣。
- 平23. 5. 12 東北地方太平洋沖地震発生に伴い、緊急消防援助隊神奈川県隊救急部隊後方支援隊（13 次派遣隊）として福島県に職員 2 名を 5 日間派遣。
- 平24. 5. 1 消防本部の組織に関する規則の改正を行い、消防総務課企画班を消防総務課消防総務係に、消防総務課予防保安班を消防総務課予防係に改めた。
- 平24. 5. 29 消防団デジタル簡易無線運用開始。
- 平24. 7. 6 第41回消防救助技術関東地区指導会（東京都）に水上の部（複合検索）で出場。
- 平25. 4. 1 消防本部、署職員 3 名採用。実員 44 名。
- 平25. 7. 23 第42回消防救助技術関東地区指導会（神奈川県横浜市）に水上の部（複合検索）で出場。
- 平25. 8. 22 第42回全国消防救助技術大会（広島県広島市）に水上の部（複合検索）で出場。
- 平26. 1. 8 小型動力ポンプ付積載車（ニッサンアトラス 1,998cc）1 台購入、第10分団に配置。
- 平26. 3. 19 小型動力ポンプ付積載車（イスズエルフ 2,999cc）1 台総務省消防庁より無償貸付を受け、第 9 分団に配置。
- 平26. 4. 1 消防本部、署職員 3 名採用。実員 44 名。
- 平26. 7. 30 第49回神奈川県消防操法大会に第 5 分団が小型ポンプ操法の部に出場。
- 平26. 7. 31 第43回消防救助技術関東地区指導会（千葉県）に水上の部（溺者救助）で出場。
- 平26. 11. 4 消防団の組織等に関する規則の一部の改正を行い、消防分団（第 6 分団、第12分団）の受持ち区域を一部改めた。
- 平26. 12. 23 小型動力ポンプ付積載車（ニッサンアトラス 1,998cc）1 台購入、第 8 分団に配置。
- 平27. 4. 1 消防本部、署職員 1 名採用。実員 45 名。
- 平27. 4. 1 消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の改正を行い、消防団員定数を 183 名から 184 名に改めた。
- 平27. 10. 17 小型動力ポンプ付積載車（ニッサンアトラス 1,998cc）1 台購入、第 3 分団に配置。
- 平27. 10. 17 小型動力ポンプ付積載車（ニッサンアトラス 1,998cc）1 台購入、第 6 分団に配置。
- 平27. 11. 8 埼玉県日高市と災害時相互応援協定を締結
- 平27. 12. 1 消防救急デジタル無線運用開始。
- 平28. 4. 20 救急救命士 1 名養成。（運用救急救命士数 12 名）

- 平28.10.30 小型動力ポンプ付積載車（ニッサンアトラス 1,998cc）1台購入、第1分団に配置。
- 平28.10.30 小型動力ポンプ付積載車（ニッサンアトラス 1,998cc）1台購入、第5分団に配置。
- 平29.4.1 平塚市・大磯町・二宮町共同消防指令センター運用開始
- 平29.4.1 定数条例の改正を行い、消防職員定数を45名から50名に改めた。
- 平29.4.1 消防本部、署職員1名採用。実員45名。
- 平29.7.14 第46回消防救助技術関東地区指導会（静岡県）に水上の部（溺者救助）で出場。
- 平29.12.6 消防ポンプ自動車（日野デュトロ 4,000cc）更新、本署に配置。
- 平30.4.1 消防本部、署で初となる女性職員2名採用。実員46名。
- 平30.7.25 第51回神奈川県消防操法大会に第6分団が小型ポンプ操法の部に出場。
- 平30.11.26 消防庁舎の一部を改修し女性専用施設の整備が完了。
- 平31.1.30 高規格救急自動車（ニッサンパラメディック 2,488cc）更新、本署に配備。
- 平31.3.28 神奈川県消防協会から竿頭かんとうじゅ綬を拝受。
- 平31.4.1 消防本部、署職員2名採用。実員46名。
- 平31.4.9 救急救命士1名養成。
- 令1.11.9 神奈川県津波対策訓練
- 令2.3.4 日本消防協会から竿頭かんとうじゅ綬を拝受。
- 令2.8.1 消防本部、署職員1名採用。実員44名
- 令3.3.16 防災資器材運搬車（ニッサンアトラス 1,998cc）更新、本署に配備
- 令3.4.1 消防本部、署職員2名採用。実員46名。
- 令3.7.6 静岡県熱海市土石流災害に伴い、緊急消防援助隊神奈川県隊消火部隊（2次派遣隊）として静岡県に職員5名を3日間派遣。
- 令4.2.22 高規格救急自動車（ニッサンパラメディック 2,488cc）更新、分署に配備。
- 令4.4.1 消防本部、署職員4名採用。実員48名

歴代消防長

代別	氏名	就任、退任年月日	備考
初代	豊田 由登	昭和43年4月1日 ~ 昭和45年10月1日	助役兼務
2代	望月 止戈郎	昭和46年6月18日 ~ 昭和49年12月10日	助役兼務
3代	小田島 藤雄	昭和49年12月21日 ~ 昭和53年12月20日	助役兼務
4代	秋本 芳男	昭和54年6月1日 ~ 昭和61年3月31日	
5代	原田 早苗	昭和61年4月1日 ~ 平成6年3月31日	
6代	坂田 吉徳	平成6年4月1日 ~ 平成6年8月11日	
7代	古正 直治	平成6年8月12日 ~ 平成7年3月31日	助役兼務
8代	小嶋 健二	平成7年4月1日 ~ 平成11年9月30日	
9代	小清水 重雄	平成11年10月1日 ~ 平成15年3月31日	
10代	三好 正則	平成15年4月1日 ~ 平成15年9月30日	
11代	仲出川 松雄	平成15年10月1日 ~ 平成17年3月31日	
12代	今井 正	平成17年4月1日 ~ 平成20年3月31日	
13代	穂坂 優	平成20年4月1日 ~ 平成21年3月31日	
14代	二宮 栄治	平成21年4月1日 ~ 平成26年3月31日	
15代	和田 勝巳	平成26年4月1日 ~ 平成29年3月31日	
16代	岩本 清嗣	平成29年4月1日 ~ 令和2年3月31日	
17代	仲手川 孝	令和2年4月1日 ~ 令和4年3月31日	
18代	原 俊清	令和4年4月1日 ~	

歴代消防団長

代別	氏名	就任、退任年月日	備考
初代	曾根田 恭男	昭和30年6月1日 ~ 昭和32年3月31日	町長兼務
2代	湯井 秀雄	昭和32年4月1日 ~ 昭和36年3月31日	
3代	齋藤 栄一	昭和36年4月1日 ~ 昭和63年3月31日	
4代	伊藤 利雄	昭和63年4月1日 ~ 平成3年3月31日	
5代	二宮 喜代司	平成3年4月1日 ~ 平成11年3月31日	
6代	田邊 邦雄	平成11年4月1日 ~ 平成15年3月31日	
7代	杉崎 英雄	平成15年4月1日 ~ 平成27年3月31日	
8代	奥野 和夫	平成27年4月1日 ~ 令和3年3月31日	
9代	土方 正美	令和3年4月1日 ~	

消防庁舎の現況

【消防本部・署庁舎】

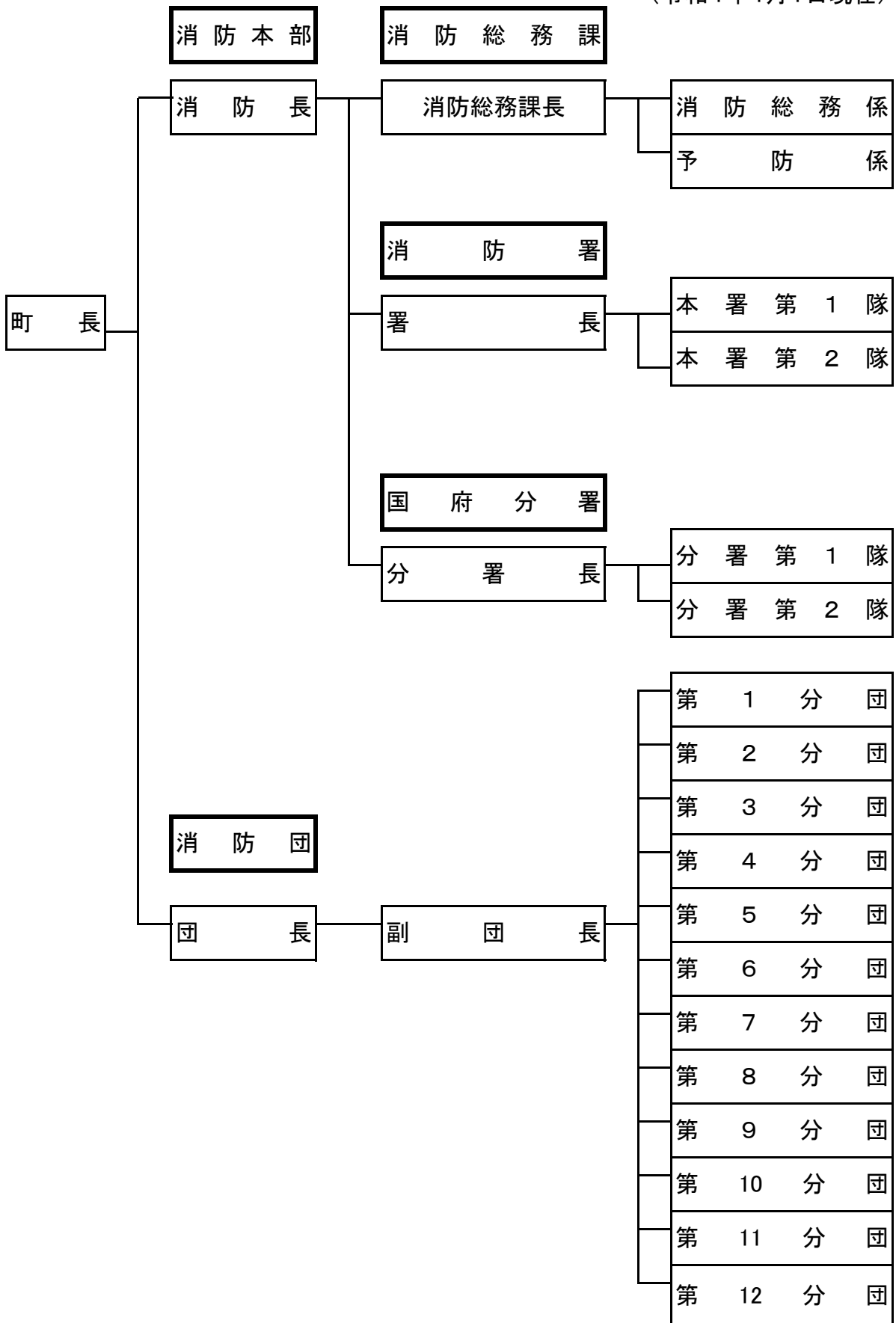
所在地	神奈川県中郡大磯町大磯1075番地
構造	鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造) 4階建
敷地面積	815.62 m ²
建築面積	495.16 m ²
延べ面積	1,384.96 m ²
1階	320.22 m ²
2階	486.16 m ²
3階	486.16 m ²
屋上階	92.42 m ²
竣工年月日	昭和49年8月5日

【国府分署】

所在地	神奈川県中郡大磯町月京6番地10号
構造	鉄骨造
敷地面積	全体敷地 1,182.36m ²
建築面積	181.85 m ²
竣工年月日	平成8年7月15日(西部地区防災施設整備工事全体工期)

消防機構図

(令和4年4月1日現在)



消防本部・署事務分掌

(令和4年4月1日現在)

[消防本部]

消防総務課

消防総務係 予防係

- (1) 公印の管理に関する事。
- (2) 消防職員の任免、賞罰、服務及びその他身分に関する事。
- (3) 消防職員の給与及び旅費等諸手当に関する事。
- (4) 消防職員の労働安全衛生に関する事。
- (5) 消防職員の公務災害補償及び償慰に関する事。
- (6) 消防庁舎の維持管理及び物品の購入に関する事。
- (7) 条例、規則等の制定及び改廃に関する事。
- (8) 消防職員の褒賞及び表彰に関する事。
- (9) 消防職員委員会に関する事。
- (10) 消防長会に関する事。
- (11) その他部局の庶務に関する事。
- (12) 消防業務の企画及び調査に関する事。
- (13) 消防組織制度及び事務改善に関する事。
- (14) 広報及び統計に関する事。
- (15) 消防団員の任免、服務及びその他身分に関する事。
- (16) 消防団員の報酬等に関する事。
- (17) 消防団員等の公務災害補償及び償慰に関する事。
- (18) 消防団詰所の維持管理及び物品の購入に関する事。
- (19) 火災予防の計画に関する事。
- (20) 防火管理者の育成、指導に関する事。
- (21) 消防用設備等の設置指導及び検査に関する事。
- (22) 火災予防思想の普及、啓発に関する事。
- (23) 建築確認の同意事務に関する事。
- (24) 防火対象物の火災予防査察及び指導並びに防火対象物点検報告制度に関する事。
- (25) 大磯町火災予防条例（昭和37年3月大磯町条例第18号）に基づく届出（消防署で処理するものを除く。）の処理に関する事。
- (26) 火災予防関係団体の育成、指導に関する事。
- (27) 火災予防及び危険物の統計に関する事。
- (28) 危険物製造所等の許認可事務に関する事。
- (29) 危険物製造所等の火災予防査察及び指導に関する事。
- (30) 危険物の貯蔵、取り扱い及び運搬の指導に関する事。
- (31) 危険物保安監督者及び危険物取扱者等の育成、指導に関する事。
- (32) その他火災予防に関する事。

[消 防 署]

本署第1隊、本署第2隊

第1消防救助隊、第2消防救助隊

- (1) 水火災又は災害等の警戒及び防ぎょに関すること。
- (2) 水火災等の防ぎょ計画の策定に関すること。
- (3) 消防地理及び消防水利の調査、維持管理に関すること。
- (4) 防火対象物の警防調査、警防計画に関すること。
- (5) 消防車両等の購入及び整備に関すること。
- (6) 消防機械器具及び資機材等の維持管理に関すること。
- (7) 火災原因及び損害調査並びに消防諸証明に関すること。
- (8) 火災、救助その他の災害出動及び災害の情報収集に関すること。
- (9) 火災、救助、災害等の伝達並びに広報活動に関すること。
- (10) 枯草及び空家等の火災予防対策に関すること。
- (11) 消防活動に支障を及ぼす行為等の届出に関すること。
- (12) 消防活動、救助活動及び訓練の技術並びに計画に関すること。
- (13) 水難救助活動に関すること。
- (14) 通信業務に関すること。
- (15) 消防、救助等の指令及び無線通信に関すること。
- (16) 消防通信機器の点検、整備に関すること。
- (17) 消防総合気象観測に関すること。
- (18) その他消防活動及び救助活動に関すること。

第1救急隊、第2救急隊

- (1) 救急活動及び訓練の技術並びに計画に関すること。
- (2) 救急出動及び情報収集に関すること。
- (3) 救急の伝達及び広報活動に関すること。
- (4) その他救急活動に関すること。

[国府分署]

分署第1隊、分署第2隊

- (1) 水火災又は災害等の警戒、防ぎょ及び人命救助に関すること。
- (2) 水火災等の防ぎょ計画の策定に関すること。
- (3) 救急救助活動及び消防訓練の技術並びに計画に関すること。
- (4) 救急救助等の出動及び情報収集に関すること。
- (5) 救急救助等の伝達及び広報活動に関すること。
- (6) 消防地理及び消防水利の調査、維持管理に関すること。
- (7) 防火対象物の警防調査、警防計画に関すること。
- (8) 消防機械器具及び資機材の維持管理に関すること。
- (9) 火災原因及び損害調査に関すること。
- (10) 火災、その他の災害出動及び災害の情報収集に関すること。
- (11) 火災及び災害等の伝達並びに広報活動に関すること。
- (12) 枯草及び空家等の火災予防対策に関すること。
- (13) 消防活動に支障を及ぼす行為等の届出に関すること。
- (14) その他消防活動に関すること。

消防本部・署の現勢

(令和4年4月1日現在)

大磯町消防本部・消防署 設置年月日	昭和43年4月1日	
国府分署 設置年月日	平成8年4月1日	
管轄地区（大磯町全域）	面積	17.23km ²
	人口	31,392人
	世帯数	12,829世帯
消防職員数	定員 50人	実員 48人
配置人員	本部・署 37人	分署 11人

配置車両・無線局	本 署	分 署
水槽付消防ポンプ自動車	1 台	/
普通消防ポンプ自動車	1 台	1 台
救助工作車	1 台	/
小型動力ポンプ	3 台	1 台
高規格救急車	2 台	1 台
指揮車	1 台	/
防災資機材運搬車	2 台	/
防災活動車	1 台	/
基地局(20W)(デジタル主運用波)	1 基	/
基地局(20W)(デジタル消防波)	1 基	/
基地局(20W)(デジタル救急波)	1 基	/
基地局(20W)(デジタル統制波)	3 基	/
陸上移動局(5W)(デジタル車載型)	10 基	2 基
陸上移動局(2W)(デジタル携帯型)	7 基	2 基
陸上移動局(5W)(デジタル卓上型)	1 基	1 基
陸上移動局(1W)(署活型)	12 基	5 基

常備消防力の基準と現有消防力の比較

(令和4年4月1日現在)

要因	区分	整備数 (台)	算定数 (人)	現有数 (人)	算定数と比較した現有 数に対する 不足数 (人)
	署所(第4条)	2			
	消防ポンプ自動車(第5・27条)	3	37	32	44
	はしご自動車(第7・27条)				
	化学消防車(第8・9・10・27条)				
	その他特殊車等(第16・27条)				
	救急自動車(第13・28条)	2	17		
	救助工作車(第14・29条)	1	14		
	指揮車(第15・30条)	1	8		
	小 計	7	76		
	通信員(第31条)		3	3	
	予防要員(第32条)		3	1	2
	庶務の処理等の人員(第34条)		9	12	-3
	合 計	7	91	48	43

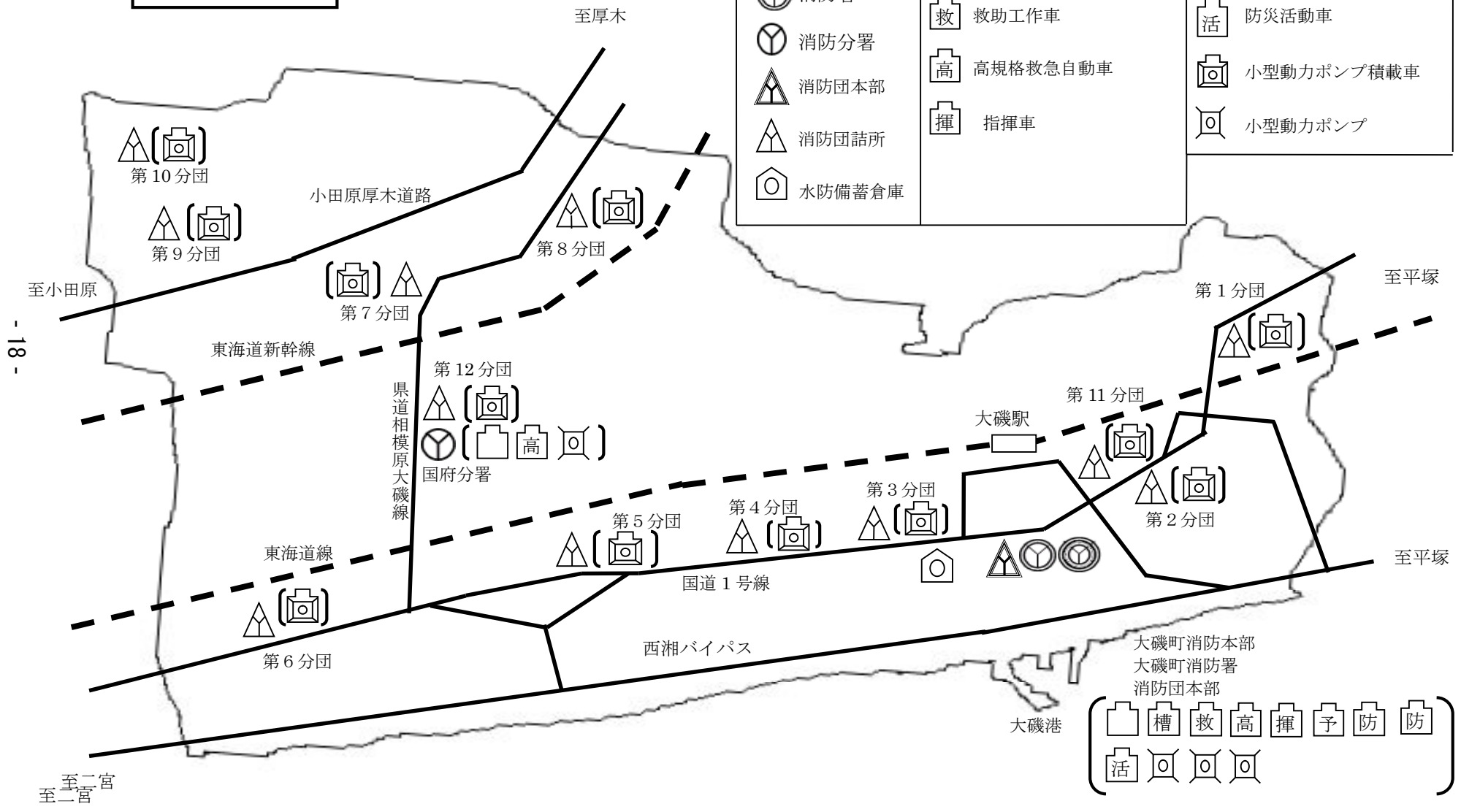
※ 算定数の算出根拠及び表内の条数は「消防力の整備指針」(平成12年1月消防庁告示第1号)によるものです。

※ 予防要員の現有数は、専任の予防要員が1名という意味で表記してあるもので、予防要員と隊員を兼務する職員は計上していません。

※ 庶務の処理等の人員は、専任の職員7名、産休職員1名、消防学校への入校者4名を合計した12名となっています。

消防配置図

凡 例	
	消防本部
	消防署
	消防分署
	消防団本部
	消防団詰所
	水防備蓄倉庫
	消防ポンプ自動車
	水槽付消防ポンプ自動車
	救助工作車
	高規格救急自動車
	指揮車
	高規格救急自動車(予備)
	防災資機材搬送車
	防災活動車
	小型動力ポンプ積載車
	小型動力ポンプ



消防本部・署現有車両機械状況

(令和4年4月1日現在)

車両別	車名 型式	登録 年月日	配置 場所	無線局の 呼出符号	総排気量 又は定格 出力(L)	ポンプ		
						社名	型式	級別
水槽付消防ポンプ自動車	日野 BDG- GX7JGWA改	平成21年 1月27日	本署	おいそ1	6.40	日本 ドライケミカル 株式会社	ND2A	A-2
消防ポンプ 自動車	日野 TKG- XZU685M	平成29年 11月10日	本署	おいそ5	4.00	長野ポンプ 株式会社	NF75	A-2
消防ポンプ 自動車	いすゞ BKG- NMR85N	平成22年 1月13日	国府 分署	こくふ1	2.99	日本 機械工業 株式会社	R-3 (BC)	A-2
高規格救急自動車	ニッサン CBF- CS8E26改	平成31年 1月21日	本署	おいそ きゅうきゅう 1	2.48			
高規格救急自動車	ニッサン CBF- CS8E26改	令和4年 2月2日	国府 分署	おいそ きゅうきゅう 2	2.48			
高規格救急自動車	トヨタ CBF- TRH221S	平成19年 11月9日	本署	おいそ きゅうきゅう 3	2.69			
救助工作車	日野 ADG- GD7JGWA改	平成19年 3月27日	本署	おいそ きゅうじょ1	6.40			
指揮車	ニッサン DBA-C25	平成21年 9月28日	本署	おいそ しき1	1.99			
防災資機材 運搬車	ホンダ GD-HA7	平成13年 8月24日	本署	おいそ4	0.65			
防災資機材 運搬車	ニッサン CBF-SQ2F24	令和3年 3月16日	本署	おいそ3	1.99			
防災活動車	ニッサン GBD-U72V	平成22年 1月28日	本署	おいそ2	0.65			
小型動力ポンプ		昭和59年 11月30日	本署			トーハツ 株式会社	V38BS	B-3
小型動力ポンプ		昭和62年 10月20日	本署			トーハツ 株式会社	V38C	B-3
小型動力ポンプ		昭和55年 8月6日	本署			トーハツ 株式会社	V38AS	B-3
小型動力ポンプ		昭和60年 9月30日	分署			トーハツ 株式会社	V38CS	B-3

機械器具等

(令和4年4月1日現在)

警防用

分類	機械器具名	数量	分類	機械器具名	数量
一般救助用器具	かぎ付きはしご	4	破壊用器具	削岩機	1
	三連はしご	5		ハンマドリル	1
	ワイヤーはしご	1	呼吸用保護器具	空気呼吸器	19
	救命索発射銃	1	隊員保護用器具	耐電手袋	5
	救助縛帯	4		耐電衣	2
	サバイバースリング	1		耐電ズボン	2
	平担架	2		耐電長靴	2
		化学防護服(簡易防護服を含む)		20	
排重除量用器具	マンホール救助器具	1		防毒衣	2
	油圧救助器具(スプレッダー)	4		防毒マスク	16
	救助用油圧ジャッキ	2	水難救助用器具	潜水器具一式	6
	可搬ウィンチ	3		救命胴衣	32
	マット型空気ジャッキ	2		救命ボート	1
切断用器具	油圧救助器具(カッター)	4		水上バイク	1
	エアソー	1		船外機	2
	エンジンカッター	4	高度救助用器具	熱画像直視装置	2
	ガス溶断器	1	その他の器具	エアータント	2
	チェーンソー	4			
	鉄線カッター	38			
検知用・器具測定	複合ガス検知器(酸素濃度測定器含む)	3			
	放射線測定器(ポケット含む)	10			
	可燃性ガス測定器	3			

消防水利状況

消火栓

(令和4年4月1日現在)

		第一管区	第二管区	第三管区	第四管区	第五管区	第六管区	第七管区	第八管区	合計
公	設	72	72	60	69	54	65	111	59	562
私	設	2		2		1		2		7
合	計	74	72	62	69	55	65	113	59	569

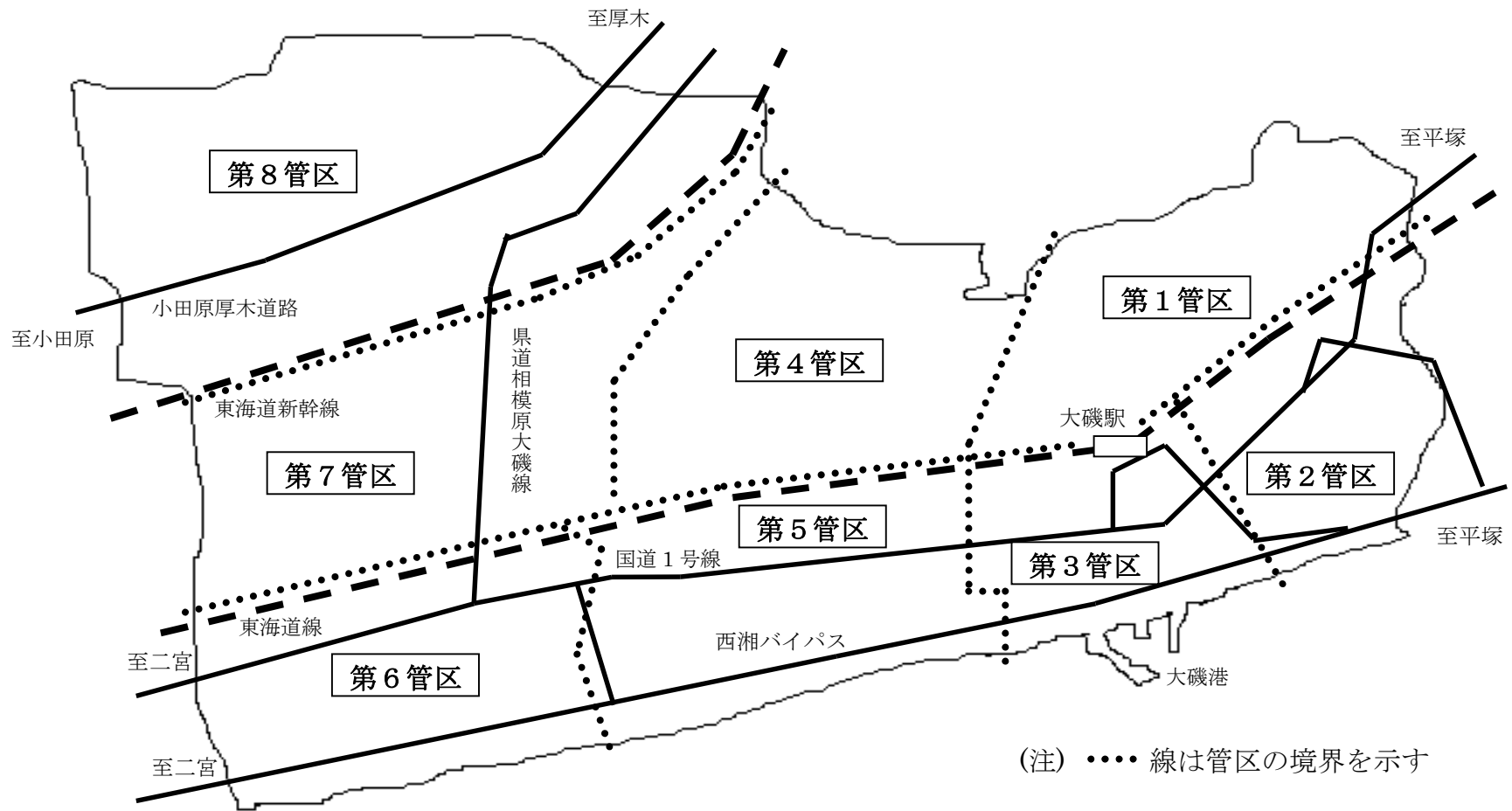
防火水槽

(令和4年4月1日現在)

		第一管区	第二管区	第三管区	第四管区	第五管区	第六管区	第七管区	第八管区	合計
公 設	40m ³ 未満		2	6	1	1	2	1	10	23
	40m ³ 以上	6 (4)	11 (8)	5 (3)	3 (2)	4 (2)	8 (3)	15 (8)	3 (3)	55 (33)
私 設	40m ³ 未満		1							1
	40m ³ 以上	4 (4)	3 (3)	10 (10)	3 (3)	6 (6)	7 (6)	6 (5)	3 (2)	42 (39)
合	計	10	17	21	7	11	17	22	16	121

※容量40m³以上の括弧内は、耐震性防火水槽の内数です。

町内消火栓管区図



(注)線は管区の境界を示す

総務

主要行事

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

- 4月9日 神奈川県消防長会総会（川崎市）
- 4月25日 消防団基本訓練（大磯ロングビーチ第1駐車場）
- 5月16日 消防団ポンプ性能検査（たかとり幼稚園）
- 11月6日 大磯町津波土砂避難訓練（町内）
- 1月9日 消防出初式（大磯町保健センター）※規模を縮小して実施
- 1月22日 文化財防火デー消防訓練（善福寺）

消防予算額(令和4年度)

款	項	目	金額(千円)	比率(%)
消防費	消防費		512,334	100.00
	内 訳	常備消防費	486,236	94.91
		非常備消防費	23,602	4.61
		水防費	2,496	0.49

町総予算(一般会計)と消防予算との比較

単位:千円

年度 区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度
町総予算額	9,579,000	10,693,000	10,092,000
消防予算額	473,832	574,967	512,334
町総予算に対する 消防予算の比率(%)	4.95%	5.38%	5.08%

消防費(令和4年度)と世帯・人口比

予算区分		額(千円)	1世帯あたり(円)	人口1人あたり(円)
町総予算額		10,092,000	786,655	321,483
消防費予算額		512,334	5.08	16,321
内 訳	常備消防費	486,236	4.82	15,489
	非常備消防費	23,602	0.23	752
	水防費	2496	0.025	80

※令和4年4月1日現在、大磯町の世帯数:12,829世帯、人口:31,392人

※ 比率については、小数第三位を四捨五入しているため、合計値が合わない場合があります。

消防職員定員・実員・年齢

(令和4年4月1日現在)

階級 年齢		消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	階 級 （ 事 務 職 無 し ）	計
定員		(階級別の定員無し)							50人
実員		1	8	12	16	2	9	-	48人
年 齢	20歳以下						2		2
	21歳～25歳					1	6		7
	26歳～30歳				2	1	1		4
	31歳～35歳				7				7
	36歳～40歳				6				6
	41歳～45歳			7					7
	46歳～50歳		3	5					8
	51歳～60歳	1	5		1				7
平均年齢		59歳	53歳	45歳	36歳	26歳	23歳	-	39歳

火 災

通 信

氣 象

原因別火災状況

(令和3年中)

区分 原因別 (中分類)	総 件 数	火災種別件数						月 別 件 数												損 害 額 (千円)
		建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	
電氣的の 原因で 発熱する	(1)	(1)												(1)						(11)
化学的の 原因で 発熱する																				
熱的の 原因で 発火する	(2)	(2)					(1)								(1)					(56)
火源あるいは 着火物が 運動により 接触する	(4)			(1)		(3)	(1)	(1)		(1)						(1)				(81)
器具機械の 材質や構造の 不良に基づく	(1)	(1)													(1)					
使用方法が 不良に基づく																				
主に交通機関に 起こる事故																				
天災地変 による																				
その他 (放火、放火の 疑い、火遊び等)	4 (8)	1 (2)				3 (6)		(4)					(2)		(2)		4			22
不明	1 (1)	(1)		1									1		(1)					94 (22,762)
合計	5 (17)	1 (7)		1 (1)		3 (9)	(1)	(5)	(1)		(1)	(2)	1 (1)		(5)	4 (1)				116 (22,910)

※括弧内は、前年数値。

地区別出火状況

年別 町内別	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和 元年	令和 2 年	令和 3 年
高麗	1	1	1		1	1		1		1
東町	1	2							3	2
長者町				3						1
山王町	1	1							1	
神明町		1	1			1				
北本町										
北下町						1				
南本町					1					
南下町				1	1					
茶屋町			1	1		3	2			
裡道										
台町	1								1	
西小磯東				1			1	2	5	
西小磯西						2	4	1		1
中丸	2	1		1	1	2	1	1		
馬場		1	3	2			1			
国府新宿	2	2	2		1	2	1	1	1	
月京		2								
生沢			1		2		1		1	
寺坂	2	1					1		1	
虫窪	1					1	1		2	
黒岩								1	1	
西久保					1					
石神台									1	
無番地							2			
合計	11	12	9	9	8	13	15	7	17	5

専用電話(119番)月別着信状況

(令和3年中)

月別 種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
火災				4	2	3	4	1	1			1	16
救急	109	83	125	89	100	92	126	109	85	113	106	136	1,273
救急支援	23	9	13	11	12	7	9	15	10	12	11	20	152
救助					1						2	1	4
警戒			1			1							2
その他災害									1				1
調査出向	2									1	2		5
問合わせ	8	8	11	9	8	15	12	12	6	9	6	5	109
試験・訓練	7	6	9	5	8	6	7	3	2	4	4	9	70
いたずら				1						2			3
その他	13	9	13	13	17	13	21	13	11	7	17	12	159
間違い	3	3	6	3	3	6	13	6	3	6	5	3	60
着信総数	165	118	178	135	151	143	192	159	119	154	153	187	1,854

現有無線局状況

(令和4年4月1日現在)

所 属	種 別	型 式	出 力	台 数
消 防 署	基 地 局	デジタル消防波	20W	1
		デジタル救急波	20W	1
		デジタル主運用波	10W	1
		デジタル統制波	10W	3
	陸 上 移 動 局	デジタル車載型	5W	12
		デジタル携帯型	2W	9
		デジタル卓上型	5W	2
		アナログ署活型	1W	17
	デジタル無線用受令機			2
消 防 団	デジタル簡易無線機(登録局)	車 載 型	5W	3
		携 帯 型	5W	42

気象状況

(令和3年中)

種別 月別	気温(°C)			湿度(%)			風向・風速(m/s)		雨量(mm)	
	最高	最低	平均	最高	最低	平均	平均風向	平均風速	総雨量	時間最高
年中	34.4	-1.8	16.8	98.6	13.3	67.8	北北東	3.8	1,682.5	53.0
1月	17.9	-1.8	6.5	96.1	13.3	50.8	北北東	4.0	27.0	1.5
2月	19.9	0.0	9.2	96.9	14.1	46.6	北北東	4.2	61.5	11.0
3月	22.0	4.6	12.8	97.7	19.1	64.2	北北東	4.2	127.5	10.5
4月	22.5	7.1	14.9	98.0	15.2	61.7	北北東	4.0	127.0	22.0
5月	26.9	11.6	19.2	98.3	23.6	73.3	南西	4.0	101.0	11.0
6月	28.8	17.1	22.1	98.3	50.8	80.1	南西	2.8	108.5	8.0
7月	31.6	19.7	25.3	98.6	50.0	86.5	北北東	2.5	411.0	36.0
8月	34.4	19.0	26.7	98.0	51.3	84.7	南西	3.7	191.5	18.0
9月	31.4	18.3	22.8	98.0	32.4	78.2	北北東	4.2	236.5	53.0
10月	29.5	9.7	18.7	98.0	26.3	72.7	北北東	4.4	80.0	9.0
11月	22.4	4.8	14.5	98.0	24.7	59.8	北北東	3.7	113.5	32.5
12月	19.8	-0.7	9.1	98.0	17.4	55.1	北北東	3.8	97.5	24.0

気象通報受信状況

(令和3年中)

内容別		月												合計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
警 報	大 雨							1	1	1				3
	洪 水							1	1	1				3
	波 浪								1		1			2
	暴 風										1			1
	高 潮													0
	小 計	0	0	0	0	0	0	0	2	3	2	2	0	0
注 意 報	乾 燥	4	4	5	3	1						2	3	22
	強 風	9	9	11	8	10	3	5	6	5	5	6	11	88
	波 浪	3	4	4	3	5	1	1	3	2	1	3	3	33
	大 雨		1	2	1	2		1	5	2	1	1	1	17
	洪 水			1	1			2	1	1		1	1	8
	雷	1	2	6	7	7	8	9	14	7	5	5	1	72
	濃 霧			1	1	5		3	2		1	1		14
	霜													0
	低 温	5	4										3	12
	大 雪													0
	着 雪													0
	風 雪													0
	津 波													0
	光化学スモッグ						1	1						2
小 計	22	24	30	24	30	13	22	31	17	13	19	23	268	
情 報	大 雨	3	16	14	14	15	15	39	26	5	8	17	10	182
	台 風							7	12	13	4			36
	低 気 圧													0
	雪	14												14
	火災予防	42	49	42	46	47	32	29	45	33	36	38	47	486
	小 計	59	65	56	60	62	47	75	83	51	48	55	57	718
合 計	81	89	86	84	92	60	99	117	70	63	74	80	995	

救急・救助

救急活動状況

(令和3年中)

種別 月別		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害事故	自損行為	急病	その他				不搬送	本署	国府分署	計
												転院搬送	医師搬送	資機材等輸送	その他				
1月	出場件数				3	2		28	2	1	89	17			1	6	73	70	143
	搬送人員				3	2		28	2	1	84	17					70	67	137
2月	出場件数				12	2		25		1	63	5			1	5	61	48	109
	搬送人員				11	2		24		1	61	5					59	45	104
3月	出場件数				11		5	35		4	86	9				7	70	80	150
	搬送人員				10		5	32		2	85	9					67	76	143
4月	出場件数				12			14		1	76	10			2	6	50	65	115
	搬送人員				13			14		1	72	10					47	63	110
5月	出場件数			1	5	1	1	22			74	14			1	5	55	64	119
	搬送人員				5	1	1	22			72	14					53	62	115
6月	出場件数				9		2	17			78	6			1	3	64	49	113
	搬送人員				9		2	17			76	6					62	48	110
7月	出場件数	1			5	1	7	14			101	17			2	10	72	76	148
	搬送人員	1			4	1	8	14			94	17					68	71	139
8月	出場件数				5			22			84	24				4	61	74	135
	搬送人員				5			22			80	24					58	73	131
9月	出場件数			1	8	1	2	17	1	1	62	9			1	7	46	57	103
	搬送人員			1	7	1	2	16	1	1	58	9					42	54	96
10月	出場件数	1		1	7		2	26			88	5				5	69	61	130
	搬送人員				6		2	25			87	5					66	59	125
11月	出場件数				6		2	29	1	2	86	5				5	69	62	131
	搬送人員				6		2	28	1	1	83	5					66	60	126
12月	出場件数				15	3	2	31	1	2	107	9			1	7	88	83	171
	搬送人員				15	3	2	30	1	2	102	9					83	81	164
本署	出場件数	1		1	53	5	8	145	1	5	528	25			6	38	778		778
	搬送人員			1	49	5	8	142	1	4	506	25					741		741
国府分署	出場件数	1		2	45	5	15	135	4	7	466	105			4	32		789	789
	搬送人員	1			45	5	16	130	4	5	448	105						759	759
合計	出場件数	2		3	98	10	23	280	5	12	994	130			10	70	778	789	1,567
	搬送人員	1		1	94	10	24	272	5	9	954	130					741	759	1,500

地区別救急出場件数

年		平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和 元 年	令和 2 年	令和 3 年
町名											
東 部 地 区		792	821	875	861	838	852	913	889	772	782
西 部 地 区		669	671	700	671	719	697	743	755	683	748
町 内 無 番 地		11	19	7	17	21	12	14	11	11	8
大 磯 町 外		24	18	17	23	24	34	23	37	20	29
東 部 地 区	高 麗	125	130	117	122	138	148	150	132	111	102
	東 町	69	67	79	60	85	76	72	87	84	59
	長 者 町	73	75	88	74	64	57	82	58	76	58
	山 王 町	71	80	78	78	74	76	85	87	81	91
	神 明 町	39	36	48	53	42	44	43	44	39	39
	北 本 町	12	19	18	17	18	20	13	10	12	15
	北 下 町	30	51	46	35	32	39	38	31	32	27
	南 本 町	20	18	20	13	12	20	31	27	12	13
	南 下 町	26	30	29	36	35	26	26	30	20	24
	茶 屋 町	34	41	47	53	31	36	39	46	26	31
	裡 道	5	2	1	1	3	4	4	4	4	2
	台 町	113	110	129	127	126	136	130	134	91	135
	西 小 磯 東	121	117	126	141	134	121	132	131	140	133
	西 小 磯 西	54	45	49	51	44	49	68	68	44	53
西 部 地 区	中 丸	148	141	169	152	150	158	169	192	139	155
	馬 場	108	115	120	114	127	110	128	126	114	123
	国 府 新 宿	146	132	127	129	150	139	125	142	129	122
	月 京	105	120	117	109	100	84	88	105	127	173
	生 沢	61	56	70	66	57	66	72	58	56	64
	寺 坂	12	17	10	14	14	15	27	15	17	15
	虫 窪	33	29	35	40	53	50	59	44	44	35
	黒 岩	13	13	7	7	11	18	12	19	9	8
	西 久 保	5	5	9	11	8	8	7	5	8	8
	石 神 台	38	43	36	29	49	49	56	49	40	45
合 計		1,496	1,529	1,599	1,572	1,602	1,595	1,693	1,692	1,486	1,567

※大磯町内の無番地地域（海岸等）は、平成19年より救急現場直近の地区とはせず、町内無番地として別枠を設けました。

時間別救急出場件数

(令和3年中)

種別 時間別	合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害事故	自損行為	急病	その他			
												転院搬送	医師搬送	資器材等輸送	その他
0～2	64					1		8	2		46	7			
2～4	42			1	1			5			34	1			
4～6	58				2			9		1	45	1			
6～8	103	1			8			21		1	71	1			
8～10	224			2	13	2	5	45		3	137	17			
10～12	181				10	1	5	42		1	107	14			1
12～14	173				14	2	4	34		3	89	26			1
14～16	188				12	2	3	39		1	110	18			3
16～18	173				19	2	5	29		2	91	21			4
18～20	157				13		1	25			107	11			
20～22	121				2			16	1		95	6			1
22～24	83	1			4			7	2		62	7			
合計	1,567	2		3	98	10	23	280	5	12	994	130			10

曜日別救急出場件数

(令和2年中)

種別 曜日別	合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害事故	自損行為	急病	その他			
												転院搬送	医師搬送	資器材等輸送	その他
日	215	1		1	10	1	5	45	2	1	138	10			1
月	248				18	4	2	44		3	154	21			2
火	244	1			16	1	6	37	1	2	157	22			1
水	203			1	16		1	43		1	125	15			1
木	218				14	1	1	29		1	153	18			1
金	246			1	13	3	4	47		4	148	24			2
土	193				11		4	35	2		119	20			2
合計	1,567	2		3	98	10	23	280	5	12	994	130			10

年齢区分別・傷病程度別搬送人員

(令和3年中)

事故種別		区分											
		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害事故	自損行為	急病	その他	合計
新生児	死亡												
	重症												
	中等症												
	軽症												
	その他												
小計													
乳幼児	死亡												
	重症												
	中等症							1			3		4
	軽症				1		1	23			25		50
	その他												
小計					1		1	24			28		54
少年	死亡												
	重症												
	中等症				2		2	1			4		9
	軽症				7		17	14	1		20		59
	その他												
小計					9		19	15	1		24		68
成人	死亡					1				1	4		6
	重症				2			1	1		9	5	18
	中等症			1	10	2	2	5		4	69	50	143
	軽症				51	5	2	33	2	3	140		236
	その他												
小計				1	63	8	4	39	3	8	222	55	403
高齢者	死亡							2			28		30
	重症				1			7		1	41	6	56
	中等症				4	1		64			336	64	469
	軽症	1			16	1		120	1		275	5	419
	その他							1					1
小計		1			21	2		194	1	1	680	75	975
合計	死亡					1		2		1	32		36
	重症				3			8	1	1	50	11	74
	中等症			1	16	3	4	71		4	412	114	625
	軽症	1			75	6	20	190	4	3	460	5	764
	その他							1					1
合計		1		1	94	10	24	272	5	9	954	130	1,500

(注) 死亡：初診時において死亡が確認されたものをいいます。
 重症：傷病程度が3週間以上の入院加療を必要とするものをいいます。
 中等症：傷病程度が1日以上3週間未満の入院加療を必要とするものをいいます。
 軽症：傷病程度が入院加療を必要としないものをいいます。
 その他：医師の診断がないもの及び、その他の場所へ搬送したものをいいます。

新生児：生後28日未満 乳幼児：生後28日以上7歳未満
 少年：7歳以上18歳未満 成人：18歳以上65歳未満 高齢者：65歳以上

収容病院別搬送人員

(令和3年中)

病院別		事故種別													合計
		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害事故	自損行為	急病	転院搬送	その他		
大磯地区	東海大学大磯病院	0	0	0	21	2	2	81	0	0	271	4	0	381	
平塚地区	平塚市民病院	1	0	1	62	6	18	147	5	8	412	14	0	674	
	平塚共済病院	0	0	0	8	1	4	37	0	0	223	9	0	282	
	済生会湘南平塚病院	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	2	0	5	
	その他の医療機関							1			2	1		4	
小計		1	0	1	91	9	24	269	5	8	908	30	0	1,346	
その他の地区	東海大学高度救命救急センター	0	0	0	3	1	0	2	0	1	23	97	0	127	
	小田原市立病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	4	
	山近記念総合病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	7	
	湘南藤沢徳洲会病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	5	
	湘南鎌倉総合病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	
	秦野赤十字病院														
	その他の医療機関							1			5	1		7	
小計		0	0	0	3	1	0	3	0	1	46	100	0	154	
合計				1	94	10	24	272	5	9	954	130	0	1,500	

事故種別応急処置回数

(令和3年中)

事故種別 応急処置	事故種別				合計
	急病	交通事故	一般負傷	その他	
応急処置対象人員	954	94	272	180	1,500
止血	4	0	12	2	18
固定	28	81	101	20	230
人工呼吸のみ実施	0	0	0	0	0
胸骨圧迫のみ実施	0	0	0	0	0
心肺蘇生(胸骨圧迫+人工呼吸)	41	0	6	2	49
※(自動胸骨圧迫器)	16	0	1	1	18
酸素吸入	197	10	17	75	299
気道確保	47	0	7	1	55
※(経鼻エアウェイ)	10	0	1	0	11
※(喉頭鏡・異物除去鉗子)	1	0	2	0	3
※(リングマスク等)	17	0	3	0	20
※(気管挿管)	1	0	1	0	2
保温	445	39	121	80	685
被覆	6	27	61	11	105
在宅療法維持管理	38	0	7	2	47
除細動	3	0	0	0	3
静脈路確保	28	0	2	2	32
薬剤投与	17	0	1	1	19
その他の応急処置	783	78	217	153	1,231
血圧測定	897	94	251	160	1,402
聴診器による聴診	844	88	209	93	1,234
血中酸素飽和度の測定	913	94	264	177	1,448
心電図測定	856	40	127	95	1,118
血糖測定	3	0	0	0	3
エピペン・ブドウ糖投与	2	0	0	0	2
応急処置合計	5,152	551	1,403	874	7,980

※ 自動胸骨圧迫器の回数は、心肺蘇生または胸骨圧迫のみを実施した場合の内数です。
 ※ 経鼻エアウェイ、喉頭鏡、異物除去鉗子、ラリゲアルマスク等、気管挿管の回数は、気道確保の内数です。

月別救急支援活動件数

(令和3年中)

種別 月	支 援 種 別			合計
	交通事故	搬出困難	その他	
1月			27	27
2月	3	2	9	14
3月	3	2	13	18
4月	3	2	16	21
5月	2	4	13	19
6月	3	2	8	13
7月		1	10	11
8月	3	5	17	25
9月	2	4	13	19
10月	2	2	17	21
11月	1	4	12	17
12月	3	6	21	30
合計	25	34	176	235

※ 救急支援出動とは、救急隊1隊での活動が困難であると予想される場合や、二次的災害防止等、救急活動を円滑に実施することを目的として消防隊が救急隊と同時に出動するものです。

『交通事故』… 主要幹線道路等での交通事故発生時に、二次災害防止、救急活動を安全かつ円滑に実施する目的で出動するもの。

『搬出困難』… 救急要請場所が中高層建物、急傾斜地、救急車接近困難な場所等で救急隊単独では傷病者搬出困難な場合に出動するもの。

『その他』… 救急要請時に心肺停止が疑われる場合や通信員が必要と判断した場合、救急隊の活動を円滑に行なうために出動するもの。他に分類されないもの。

月別救助出場件数

(令和3年中)

月別 事故種別		火災	交通	水難	自然	風	よ機	よ建	酸ガ	爆	事そ	合
		事故	事故	事故	然水	害	る械	る物	欠ス	発	の	
		故	故	故	災害	害等	故に	事に	事及	事故	他の	計
1月	出場件数										1	1
	救助人員										0	0
2月	出場件数		1								1	2
	救助人員		1								1	2
3月	出場件数											
	救助人員											
4月	出場件数											
	救助人員											
5月	出場件数										1	1
	救助人員										0	0
6月	出場件数											
	救助人員											
7月	出場件数											
	救助人員											
8月	出場件数											
	救助人員											
9月	出場件数										1	1
	救助人員										1	1
10月	出場件数			1								1
	救助人員			1								1
11月	出場件数										1	1
	救助人員										1	1
12月	出場件数		1									1
	救助人員		1									1
合計	出場件数		2	1							5	8
	救助人員		2	1							3	6

予 防

防火対象物状況

(単位:棟)

項目		年度	平成	令和	令和	令和
			30年度	元年度	2年度	3年度
1項	イ	映画館等				
	ロ	公会堂・集会場	19	17	17	17
2項	イ	キャバレー等				
	ロ	遊技場等				
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等				
3項	イ	料理店等	2	2	1	1
	ロ	飲食店	21	21	21	22
4項		店舗・マーケット等	26	26	24	24
5項	イ	旅館・ホテル	4	4	4	3
	ロ	共同住宅等	222	223	224	224
6項	イ	病院・診療所	7	8	8	7
	ロ	養護老人ホーム等	12	12	12	12
	ハ	老人デイサービス等	30	30	28	29
	ニ	幼稚園	3	3	3	3
7項		学校	28	29	30	30
8項		図書館等	5	5	3	3
9項	イ	蒸気・熱気浴場				
	ロ	イ以外の公衆浴場				
10項		駅舎	1	1	1	1
11項		神社・寺院等	12	14	15	15
12項	イ	工場・作業場	11	10	10	10
	ロ	映画スタジオ				
13項	イ	駐車場等	5	5	5	5
	ロ	飛行機等の格納庫				
14項		倉庫	10	9	9	9
15項		前各項に該当しない事業所	51	52	51	52
16項	イ	特定複合用途	35	36	40	39
	ロ	上記以外の複合用途	14	15	17	17
17項		重要文化財等	2	2	4	4
合 計			520	524	527	527

防火管理者届出及び消防計画届出状況

(令和3年度中)

防火対象物項目		種別	消防法第17条 対象物	防火管理者届出 義務対象物数	防火管理者届出済 対象物数	消防計画届出済 対象物数
1項	イ	映画館等				
	ロ	公会堂・集会場	17	17	16	4
2項	イ	キャバレー等				
	ロ	遊技場等				
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等				
3項	イ	料理店等	1	1	1	1
	ロ	飲食店	22	19	15	10
4項		店舗・マーケット等	24	18	17	13
5項	イ	旅館・ホテル	3	2	2	2
	ロ	共同住宅等	224	40	34	32
6項	イ	病院・診療所	7	1	1	1
	ロ	養護老人ホーム等	12	12	12	12
	ハ	老人デイサービス等	29	28	28	28
	ニ	幼稚園	3	3	3	3
7項		学校	30	26	26	26
8項		図書館等	3	3	3	3
9項	イ	蒸気・熱気浴場				
	ロ	イ以外の公衆浴場				
10項		駅舎	1			
11項		神社・寺院等	15	6	6	4
12項	イ	工場・作業場	10	3	3	3
	ロ	映画スタジオ等				
13項	イ	駐車場等	5	4	4	4
	ロ	飛行機等の格納庫				
14項		倉庫	9			
15項		前各項に該当しない事業所	52	25	25	24
16項	イ	特定複合用途	39	20	19	16
	ロ	上記以外の複合用途	17	7	5	3
17項		重要文化財等	4	2	3	2
合 計			527	237	223	191

火災予防関係届出状況

(令和3年度中)

区 分		月 別												合 計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
設備	消防用設備等着工届	1	2	2	1	1	2	1		2	3	3	6	24
	消防用設備等設置届	1	2	6	1	5	4	4	3	3	2	6	8	45
	消防用設備等点検結果	26	7	23	7	10	5	13	7	23	9	31	39	200
防火管理	防火管理者選(解)任届	7	1	5	4	5	2	1	1	2	1	1	5	35
	防火管理者資格終了証再交付		1	1								1		3
	消防計画作成(変更)届	2	1	2	2		1	2		1	2	3	2	18
	自衛消防訓練通知	7	12	10	5	6	10	17	8	7	13	14	7	116
火災予防	防火対象物使用開始届	3	1	1	1	1	1	1	4	1	2		3	19
	少量危険物貯蔵取扱い届							1						1
	少量危険物廃止届													
	電気設備等設置届				1									1
	圧縮アセチレンガス等の届													
	催物開催届													
	是正改修完了報告書	8	13	3	2	6	4	1	1	1	9	14	4	66
	消防資料届													
	消防設備等特例適用申請		2											2
	変更等届		2	3	1	2	1	2	1	2	2	1	2	19
	火災と紛らわしい行為届	2		1	5	1	1	4	5	11	5	1	3	39
	煙火打上げ届				1					1				2
	道路工事届	5	5	7	7	9	5	2	9	8	5	11	10	83
	水道断・減水届													
	火を使用する設備等の設置届										1			1
防火対象物点検報告			1									5	6	
その他届出	2	1	2				2	1	7	1	1	4	21	
合 計		64	50	67	38	46	37	50	40	69	55	87	98	701

建築物消防同意状況

(令和3年度中)

項目		年度・件数		29年度	30年度	31年度	2年度	3年度
		件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数
1項	イ	映画館等						
	ロ	公会堂・集会場	1					
2項	イ	キャバレー等						
	ロ	遊技場等						
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等						
3項	イ	料理店等						
	ロ	飲食店	2	1	1			
4項		店舗・マーケット等	2	1		2	1	
5項	イ	旅館・ホテル				1		
	ロ	共同住宅等	2	2	2	2		
6項	イ	病院・診療所						1
	ロ	養護老人ホーム等		1				1
	ハ	老人デイサービス等	1	1		1	1	
	ニ	幼稚園	1					
7項		学校	1	2				
8項		図書館等						
9項	イ	蒸気・熱気浴場						
	ロ	イ以外の公衆浴場						
10項		駅舎						
11項		神社・寺院等		1	3	1		
12項	イ	工場・作業場						
	ロ	映画スタジオ等						
13項	イ	駐車場等		2	1			
	ロ	飛行機等の格納庫						
14項		倉庫	2	4			1	
15項		前項に該当しない事業所	10	11	3	1	3	
16項	イ	特定複合用途	1	2	1	2		
	ロ	上記以外の複合用途						
17項		重要文化財等						
専用住宅			93	116	88	102	148	
その他							2	
合計			116	144	99	112	158	

用途地域別建築物消防同意

(令和3年度中)

月 用途地域	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
合計	12 (1)	12 (10)	17 (4)	16 (4)	12 (2)	13 (2)	10 (6)	19 (8)	11 (8)	18 (6)	10 (7)	8 (4)	158 (62)
第1種低層 住居専用地域	1	(6)	1 (2)	1 (3)	1 (1)		(6)	1 (4)	1 (3)	(2)	(4)	(2)	6 (33)
第1種中高層 住居専用地域	6	3	9	7	4	4	8	9	7	11	9	4	81
第1種 住居専用地域	3	3	3	6	5	4	1	6	2	5	1	4	43
第2種 住居専用地域	1									1			2
近隣商業地域	1	6	4	2	2	4	1	3	1				24
準工業地域	(1)							(2)		1 (1)		(1)	1 (5)
工業地域													
住居地域													
無指定		(4)	(2)	(1)	(1)	(2)		(2)	(5)	(3)	(3)	(1)	1 (24)
市街化調整区域													

※ 括弧内は通知件数

中高層建築物状況

(単位:棟、令和4年4月1日現在)

防火対象物項目		階 数	3 階	4 階	5 階	10 階
1項	イ	映画館等				
	ロ	公会堂・集会場	2			
2項	イ	キャバレー等				
	ロ	遊技場等				
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等				
3項	イ	料理店等				
	ロ	飲食店	2			
4項		店舗・マーケット等				
5項	イ	旅館・ホテル		1		1
	ロ	共同住宅等	19	26	5	
6項	イ	病院・診療所	1		1	
	ロ	養護老人ホーム等	2	1		
	ハ	老人デイサービス等	3			
	ニ	幼稚園				
7項		学校	6	1		
8項		図書館等				
9項	イ	蒸気・熱気浴場				
	ロ	イ以外の公衆浴場				
10項		駅舎				
11項		神社・寺院等	1			
12項	イ	工場・作業場	1			
	ロ	映画スタジオ等				
13項	イ	駐車場等	1			
	ロ	飛行機等の格納庫				
14項		倉庫				
15項		前各項に該当しない事業所	6	3	1	
16項	イ	特定複合用途	11	3		
	ロ	上記以外の複合用途	4	1	1	
17項		重要文化財等				
合 計			59	36	8	1

危険物関係届出状況

(令和3年度中)

区分	月 別												合 計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
危険物保安監督者（選・解任）													
危険物取扱所休止届													
危険物取扱所廃止届													
危険物貯蔵所休止届													
危険物貯蔵所廃止届													
危険物貯蔵所等譲渡引渡届									1				1
危険物品名数量変更届											1		1
圧縮アセチレンガス等の貯蔵又は取扱いの開始（廃止）届出書	1				1				1	2	5		10
危険物取扱所等設置許可													
危険物取扱所等変更許可							1	1		1		1	5
危険物取扱所等完成検査							1			2	1	1	5
危険物仮使用承認							1	1		1		1	5
危険物仮貯蔵承認													
危険物タンク検査													
危険物製造所等変更届	1			2	1								4
予防規程制定認可申請													
予防規程変更認可申請								1			1		2
危険物製造所等軽微な変更届				2		1				1		1	5
合 計	2			4	2	4	3		4	7	8	4	38

危険物施設状況

(令和4年4月1日現在)

製造所等の別 区分	製造所	貯 蔵 所							取 扱 所				合 計	
		屋 内	屋 外 タンク	屋 内 タンク	地 下 タンク	簡 易 タンク	移 動 タンク	屋 外	一 般	給 油		販 売		
										営 業	自 家	第 1 種		第 2 種
施 設 数														
類 別	第一類													
	第二類													
	第三類													
	第四類		4		18				6	3	1			32
	第五類													
	第六類													
	混 在													
施設数合計			4		18				6	3	1			32
届 出 数														
許 可	設置													
	変更		1		1					1	2			5
完 成 検 査	設置													
	変更		1		1					1	2			5
タンク検査														
休 止														
廃 止														
仮使用・仮貯蔵 ・仮取扱数			1		1					1	2			5
届出数合計			3		3					3	6			15
査察実施数					2				1	3	1			7

指定数量別危険物製造所等の状況

(令和4年4月1日現在)

製造所等の別		数量の別							計
		5倍以下	5倍を超え10倍以下	10倍を超え50倍以下	50倍を超え100倍以下	100倍を超え150倍以下	150倍を超え200倍以下	200倍を超え1,000倍以下	
製造所									
貯蔵所	屋内	1	2	1					4
	屋外タンク								
	屋内タンク								
	地下タンク	9	2	6	1				18
	簡易タンク								
	移動タンク								
	屋外								
小計		10	4	7	1				22
取扱所	給油				1			3	4
	第1種販売								
	第2種販売								
	一般	3	3						6
小計		3	3		1			3	10
合計		13	7	7	2			3	32

地区別危険物施設及び貯蔵・取扱数量

(令和4年4月1日現在)

	製造所	貯 蔵 所						取 扱 所		合 計	危険物の数量
		屋 内	屋 外 タンク	屋 内 タンク	地 下 タンク	移 動 タンク	屋 外	給 油	一 般		第 4 類 (ℓ)
東 部 地 区	高 麗	3			1				1	5	74,080.9
	東 町				1					1	3,500
	長 者 町										
	北 本 町				2					2	7,000
	南 本 町				1					1	3,000
	南 下 町				1				1	2	21,500
	台 町				3				1	4	33,800
	西小磯東										
	西小磯西	1			2					3	33,350
小 計		4			11				3	18	176,230.9
西 部 地 区	中 丸				1			1	1	3	175,727
	馬 場										
	国府新宿				1			1		2	77,600
	月 京				1				2	3	22,832
	生 沢				1			1		2	93,000
	虫 窪				2					2	6,900
	黒 岩				1			1		2	30,000
小 計					7			4	3	14	406,059
合 計		4			18			4	6	32	582,289.9

消 防 団

消防団の現勢

（令和4年4月1日現在）

消防団設置年月日	昭和30年6月1日
消防分団数	1本部 12分団
消防団員定数	184人
消防団員数	159人

小型動力ポンプ付積載車	12台	安全帽	184個	防塵メガネ	24個
消防団無線 (デジタル簡易無線機)	45基	ケブラー手袋	184双	投光器	17基
防火衣一式	184組	救命胴衣	184着	救助ボート	1艇

消防団の現況

（令和4年4月1日現在）

分団別	区分	消 防 団 員 数							計
		団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	
本部		1	3					4	8
第1分団				1	1	2	3	5	12
第2分団				1	1	2	3	4	11
第3分団				1	1	2	3	5	12
第4分団				1	1	2	3	7	14
第5分団				1	1	2	3	6	13
第6分団				1	1	2	3	8	15
第7分団				1	1	2	3	2	9
第8分団				1	1	2	3	4	11
第9分団				1	1	2	3	5	12
第10分団				1	1	2	3	8	15
第11分団				1	1	2	3	6	13
第12分団				1	1	2	3	7	14
計		1	3	12	12	24	36	71	159

消防団分団別受持区域図



消防団分団別受持区域表

本・分団別	区 域
本 部	全 域
第 1 分 団	高 麗
第 2 分 団	山王町、東町、長者町
第 3 分 団	台町、裡道、南本町、南下町、茶屋町
第 4 分 団	西小磯東、西小磯西
第 5 分 団	国府本郷（中丸、馬場）
第 6 分 団	国府新宿（東海旅客鉄道株式会社東海道新幹線以南の区域に限る。）
第 7 分 団	生 沢
第 8 分 団	寺 坂
第 9 分 団	虫 窪
第 10 分 団	黒 岩、西久保
第 11 分 団	神明町、北本町、北下町
第 12 分 団	月京、石神台、国府新宿（東海旅客鉄道株式会社東海道新幹線以北の区域に限る。）

各分団所在地

(令和4年4月1日現在)

分団名	所在地	建築年月日	構造		延床面積
			主体	外壁	
第1分団	高麗一丁目7-7	昭和58年12月18日	鉄骨2階	A L C	48.97 m ²
第2分団	大磯1901-18	平成6年2月24日	鉄骨2階	A L C	69.58 m ²
第3分団	東小磯143-3	平成7年3月15日	鉄骨2階	A L C	82.00 m ²
第4分団	西小磯245	平成4年3月31日	R C 2階	打放し コンクリート	54.68 m ²
第5分団	国府本郷757-6	平成4年3月31日	鉄骨2階	押出成形 セメント板	74.88 m ²
第6分団	国府新宿397-1	平成4年3月31日	R C 2階	打放し コンクリート	69.77 m ²
第7分団	生沢690-3	昭和60年11月28日	鉄骨2階	A L C	67.48 m ²
第8分団	寺坂656-4	昭和63年3月24日	鉄骨2階	A L C	67.48 m ²
第9分団	虫窪533-14	昭和61年12月25日	鉄骨、平	A L C	58.93 m ²
第10分団	黒岩45-2	昭和60年3月20日	鉄骨、平	A L C	52.76 m ²
第11分団	大磯992	昭和58年3月25日	R C、平	R C	43.05 m ²
第12分団	月京6-10	平成7年10月17日	鉄骨2階	A L C	77.40 m ²

※ R C (鉄筋コンクリート造)

※ A L C (鉄骨軽量気泡コンクリート造)

消防団員階級別年齢

(令和4年4月1日現在)

階級 年齢	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計人数
18歳未満								0
18歳～20歳							1	1
21歳～25歳							3	3
26歳～30歳							5	5
31歳～35歳						2	10	12
36歳～40歳				2	3	5	14	24
41歳～45歳			2	1	5	7	15	30
46歳～50歳			3	1	5	8	12	29
51歳～55歳		1	3	6	4	9	6	29
56歳～59歳			2	2	2	4	2	12
60歳以上	1	2	2		5	1	3	14
合計人数	1	3	12	12	24	36	71	159
							平均 年齢	45歳

職業別消防団員数

(令和4年4月1日現在)

農 業	漁 業	建 設 業	製 造 業	電 気 ・ ガ ス ・ 熱 供 給 ・ 水 道 業	運 輸 ・ 通 信 業	卸 売 ・ 小 売 業 ・ 飲 食 店	金 融 ・ 保 險 業	不 動 産 業	サ ー ビ ス 業	公 務 員	そ の 他 の 産 業	合 計
3		24	40	4	10	16	4	3	29	4	22	159

消防団員在職年数

(令和4年4月1日現在)

30年 以上	25年 ～ 29年	20年 ～ 24年	15年 ～ 19年	10年 ～ 14年	5年 ～ 9年	5年 未 満	合 計
3	10	5	24	34	29	54	159

消防団員年報酬額

(令和4年4月1日現在)

階 級	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員
年 額	157,900 円	92,900 円	53,400 円	40,400 円	37,900 円	37,000 円	36,500 円

消防団員出動報酬額

(令和4年4月1日現在)

出動区分	支給単位	金 額
災害出動	3時間未満	4,000円
	3時間以上	8,000円

消防団員費用弁償額

(令和4年4月1日現在)

出動区分	支給単位	金 額
訓練、警戒出動等	3時間未満	1,600円
	3時間以上	3,100円

消防団現有車両機械状況

(令和4年4月1日現在)

分団名	配置機械	ポンプ級	ポンプ会社名	購入年月日	無線局呼び出し符号
第1分団	積載車(ニッサン)	/	畠山ポンプ	H28.11.28	おおいそだん101, 201, 301
	小型動力ポンプ		B-3	トーハツ	
第2分団	積載車(ニッサン)	/	畠山ポンプ	H21.11.11	おおいそだん102, 202, 302
	小型動力ポンプ		B-3	トーハツ	
第3分団	積載車(ニッサン)	/	畠山ポンプ	H27.11.17	おおいそだん103, 203, 303
	小型動力ポンプ		B-3	トーハツ	
第4分団	積載車(ニッサン)	/	畠山ポンプ	H22.11.30	おおいそだん104, 204, 304
	小型動力ポンプ		B-3	トーハツ	
第5分団	積載車(ニッサン)	/	畠山ポンプ	H28.11.28	おおいそだん105, 205, 305
	小型動力ポンプ		B-3	トーハツ	
第6分団	積載車(ニッサン)	/	畠山ポンプ	H27.11.17	おおいそだん106, 206, 306
	小型動力ポンプ		B-3	トーハツ	
第7分団	積載車(ニッサン)	/	畠山ポンプ	H22.11.30	おおいそだん107, 207, 307
	小型動力ポンプ		B-3	トーハツ	
第8分団	積載車(ニッサン)	/	畠山ポンプ	H26.12.23	おおいそだん108, 208, 308
	小型動力ポンプ		B-3	トーハツ	
第9分団	積載車(いすゞ)	/	トーハツ	H26.3.19	おおいそだん109, 209, 309
	小型動力ポンプ		B-2	トーハツ	
第10分団	積載車(ニッサン)	/	畠山ポンプ	H26.1.27	おおいそだん110, 210, 310
	小型動力ポンプ		B-3	トーハツ	
第11分団	積載車(ニッサン)	/	畠山ポンプ	H22.3.26	おおいそだん111, 211, 311
	小型動力ポンプ		B-3	トーハツ	
第12分団	積載車(ニッサン)	/	畠山ポンプ	H20.10.21	おおいそだん112, 212, 312
	小型動力ポンプ		B-3	トーハツ	

※ 各分団にはこの他に発電機、投光器を配備しています。

※ 無線局呼び出し符号「3**」に関しては、H26.2.3総務省無償貸付により整備されたもの。

その他 統計

救命講習会等実施状況

救命講習会 講習回数及び受講者数

年区分 内容	平成元年中		令和2年中		令和3年中	
	講習回数	受講者数	講習回数	受講者数	講習回数	受講者数
上級救命講習	1	8	2	16	0	0
普通救命講習会	23	296	8	94	17	206
救命入門コース ※	13	537	3	43	1	11
合計	37	841	13	153	18	217

講習回数及び受講者数累計

内容	講習回数	受講者数
平成17年からの 普通救命講習会	503	6,169
平成25年からの 救命入門コース	107	3,154
合計	610	9,323

※ 「救命入門コース」 …平成27年7月より新設した、基本的な心肺蘇生法及びAEDの使用方法に重点を置いた90分間のコース。

※ 平成25年、平成26年の「救命入門コース」は小学生を対象としたもの。

参考資料

(令和4年4月1日現在)

	世帯数	人口	人口1万人ごとの年間発生比率		
			火災は	救急は	救助は
東部地区	7,354 世帯	17,779 人	3.8 件	504.6 件	2.2 件
西部地区	5,475 世帯	13,613 人			
合計	12,829 世帯	31,392 人			

年区分 町内名		令和元年度			令和2年度			令和3年度		
		火災	救急	救助	火災	救急	救助	火災	救急	救助
合計		12	1,616	11	10	1,488	7	12	1,584	7
東部地区		8	846	9	5	766	4	8	775	3
西部地区		4	732		5	685	1	4	778	2
町内無番地(海岸等)			9	2		13	2		7	2
大磯町外(応援)			29			24			24	
東 部 地 区	高麗	1	117	1		117	2	1	105	1
	東町	1	87		2	75		3	55	
	長者町		61	1		70		1	63	
	山王町		91		1	84			90	
	神明町		46	1		42	1		37	1
	北本町		12	1		9			16	
	北下町		24			33			23	
	南本町		27			12			12	
	南下町		23			22			19	
	茶屋町		40	2		26			25	
	裡道		3			3			3	
	台町		123		1	90			130	
	西小磯東	6	130	2	1	140	1		144	1
	西小磯西		62	1		43		3	53	
西 部 地 区	中丸		191			132		1	153	1
	馬場		113			107		1	146	
	国府新宿	1	132		1	127		1	133	
	月京		106			141			166	
	生沢		62		1	53		1	73	1
	寺坂	1	12			20			14	
	虫窪		47		2	42			32	
	黒岩	2	16			7			11	
	西久保		5			12			5	
	石神台		48		1	44	1		45	

※ 火災件数は発生件数とするため、大磯町外(応援)の火災出動は合計件数へは計上しません。

※ 町外救助応援出動はその他出動としているため、合計件数へは計上しません。

※ 出典: 令和2年に実施した国勢調査の確報数値を基準とした推計人口。

消 防 年 報

令和4年 6月発行

編集・発行 大磯町消防本部

〒255-0003 神奈川県中郡大磯町大磯 1075 番地

TEL 0463 - 61 - 0911

FAX 0463 - 61 - 7412